

平成 27 年度

市民と議会をつなぐ会

～議会報告と意見交換会～

実施報告書



平成 27 年 10 月

北上市議会

～ 目 次 ～

1 開催状況

(1) 日時・議員班編成	2
(2) 地区別の参加者数	3
(3) 参加者の性別・年齢層	4
(4) アンケート集計	6

2 議会報告

(1) 配付資料	10
(2) 質問・意見等	
《地域情報システム・コミュニティFM》	12
《街路灯のLED化》	14
《多面的機能支払交付金》	15
《その他》	16

3 意見交換

(1) 各地区のワークショップの結果	19
--------------------	----

黒沢尻北…19	黒沢尻東…20	黒沢尻西…21	立花…23
飯豊…24	二子…25	更木…26	黒岩…28
口内…29	稲瀬…30	相去…31	鬼柳…32
江釣子…33	和賀…35	岩崎…37	藤根…38

(2) 常任委員会ごとの回答等	
①総務常任委員会	41
②教育民生常任委員会	44
③産業建設常任委員会	46

4 アンケート記入欄

①市民と議会をつなぐ会について	49
②その他	51

1 開催状況

(1) 日時・議員班編成

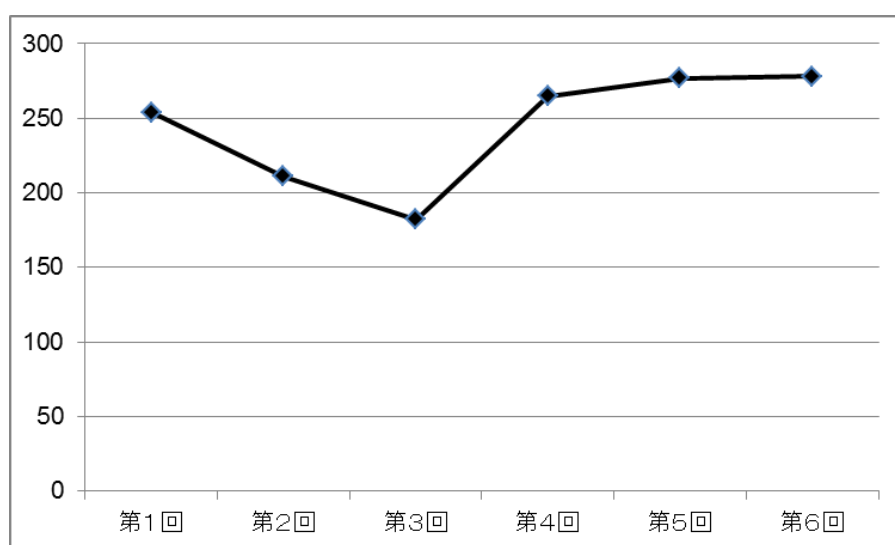
開催日（H27 年）	時間	会場 （各交流センター）	担当班
7 月 4 日（土）	午後 2 時～3 時 30 分	口 内	1 班
		黒沢尻東	2 班
		江 釣 子	3 班
		黒沢尻西	4 班
7 月 5 日（日）	午前 10 時～11 時 30 分	鬼 柳	1 班
		飯 豊	3 班
		稲 瀬	4 班
	午後 2 時～3 時 30 分	相 去	2 班
7 月 6 日（月）	午後 7 時～8 時 30 分	立 花	1 班
		更 木	2 班
		黒 岩	3 班
		和 賀	4 班
7 月 7 日（火）	午後 7 時～8 時 30 分	黒沢尻北	1 班
		二 子	2 班
		岩 崎	3 班
		藤 根	4 班

班	総務常任委員会	教育民生常任委員会	産業建設常任委員会
1 班 （7 名）	小 原 享 子	高 橋 光 博	川 邊 津 好
	高 橋 孝 二	及 川 誠	菅 野 豊 志
		高 橋 初 男	
2 班 （7 名）	三 宅 靖	佐 藤 恵 子	武 田 勝
	安 徳 壽美子	星 俊 和	八重樫 善 勝
	八重樫 七 郎		
3 班 （6 名）	藤 本 金 樹	星 敦 子	藤 原 正
	高 橋 穂 至	小 原 敏 道	千 葉 一 夫
4 班 （6 名）	阿 部 眞希男	梅 木 忍	齊 藤 律 雄
	佐 藤 ケイ子	鈴 木 健二郎	佐 藤 重 雄

(2) 地区別の参加者数

地 区	H27. 7 開催 (第 6 回)	H26. 5 開催 (第 5 回)	H25. 5 開催 (第 4 回)	H23. 11 開催 (第 3 回)
黒沢尻北	9	11	9	9
黒沢尻東	19	17	5	16
黒沢尻西	14	17	16	15
立 花	14	22	10	4
飯 豊	14	19	11	19
二 子	11	18	9	8
更 木	20	26	30	33
黒 岩	12	6	10	12
口 内	14	7	26	5
稲 瀬	13	17	12	7
相 去	7	5	20	4
鬼 柳	13	15	15	16
江 釣 子	43	41	19	7
和 賀	21	19	21	9
岩 崎	12	18	21	13
藤 根	42	19	31	5
合 計	278	277	265	182

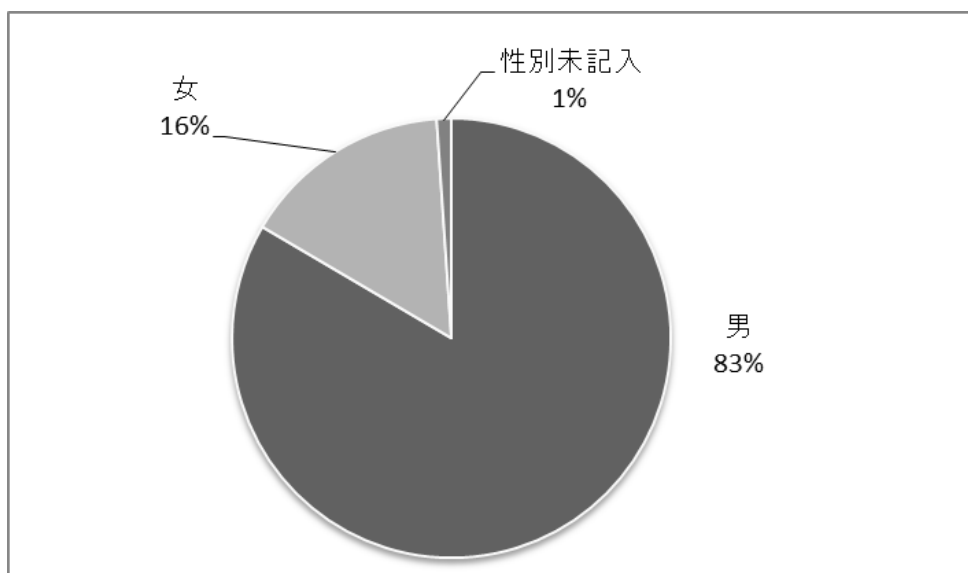
参加者数の推移



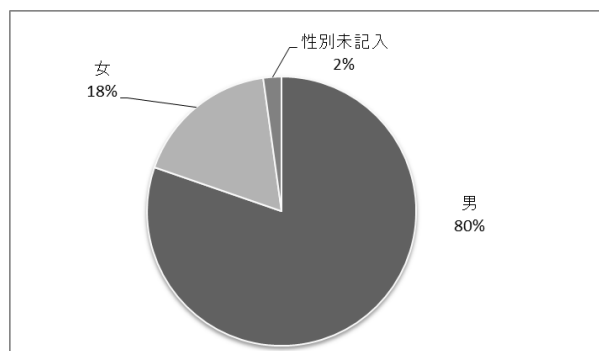
(3) 参加者の性別・年齢層（受付表記入者）

① 性別

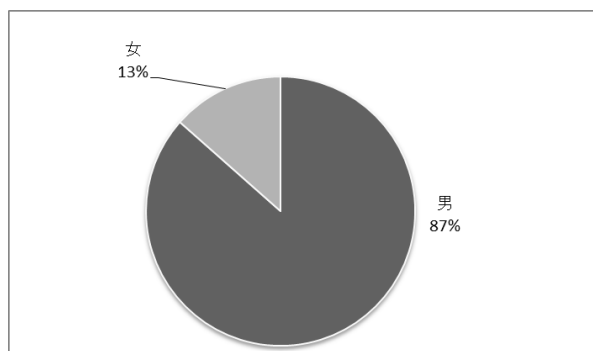
男性	女性	性別未記入
232	43	3



《土曜日・日曜日開催会場》



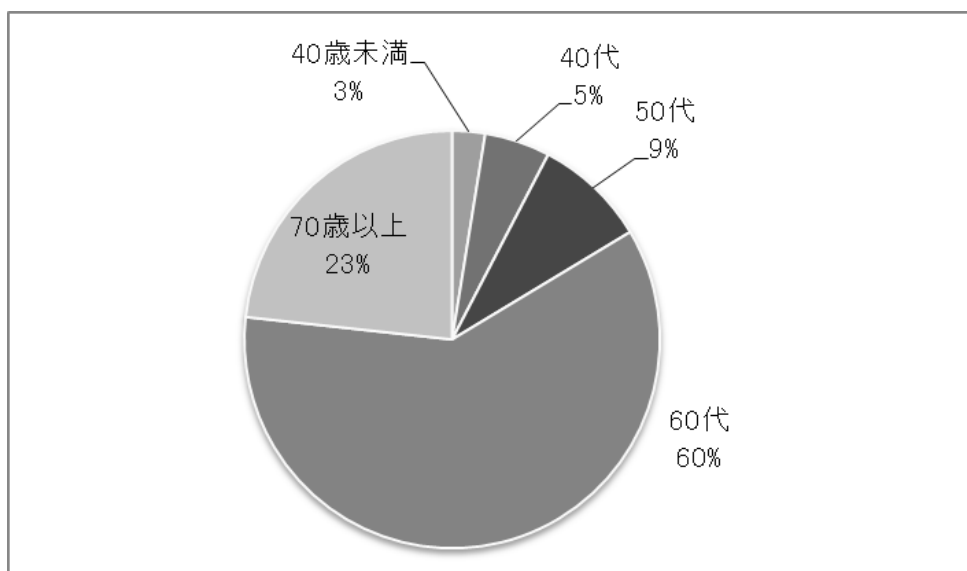
《月曜日・火曜日開催会場》



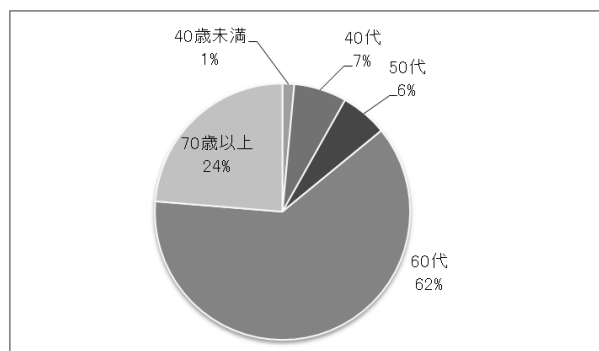
前回に比べ、女性参加者の割合が6ポイント増加しました。また、平日よりも土日に開催した会場では、女性の参加者が多い傾向が見られました。

② 年齢層

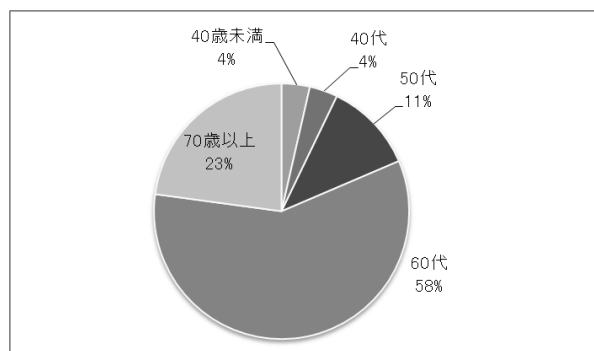
40 歳 未 満	40 代	50 代	60 代	70 歳 以 上
7	14	24	166	64



《土曜日・日曜日開催会場》



《月曜日・火曜日開催会場》

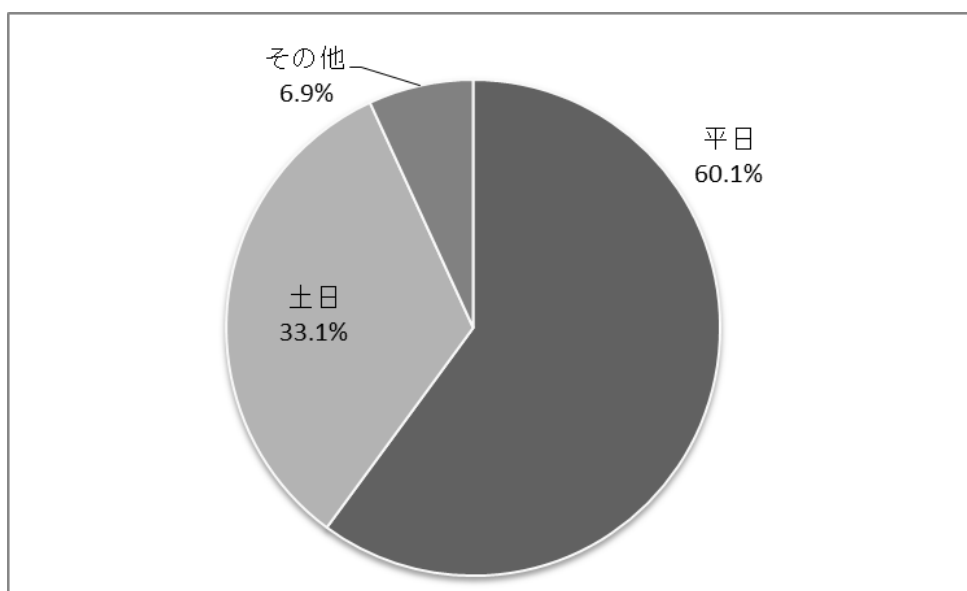


前回と同様に、60代以上の参加者が全体の8割ほどを占めました。開催する曜日による著しい差は見られませんでした。

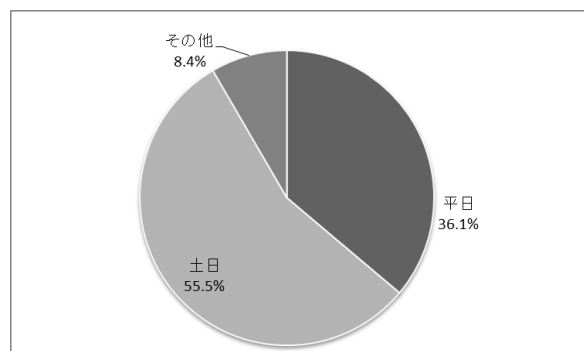
(4) アンケート集計

① 開催曜日について

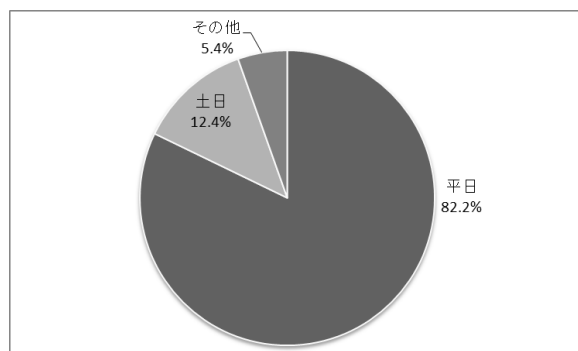
平日が良い	土日が良い	その他
149	82	17



《土曜日・日曜日開催会場》



《月曜日・火曜日開催会場》

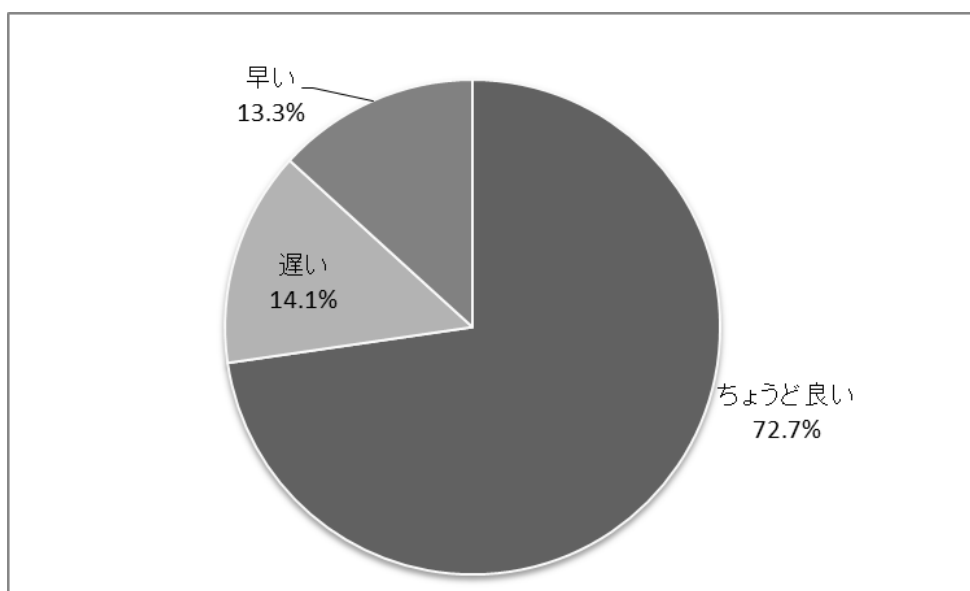


全体では、6割ほどが平日の開催が良いとの回答でした。しかし、土日に開催した会場に限れば、土日が良いとの回答が半数以上でした。

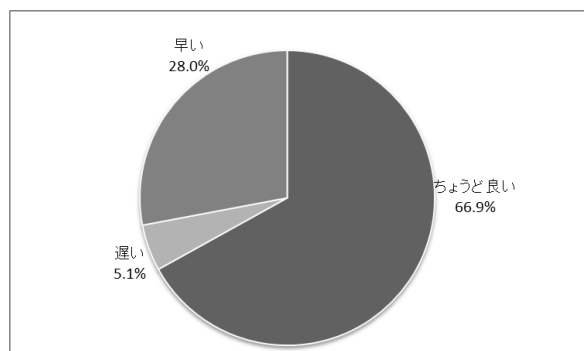
その他の中には、「曜日にはこだわらないが、夕方から夜にかけての開催を希望する」等の意見がありました。

② 開始時間について

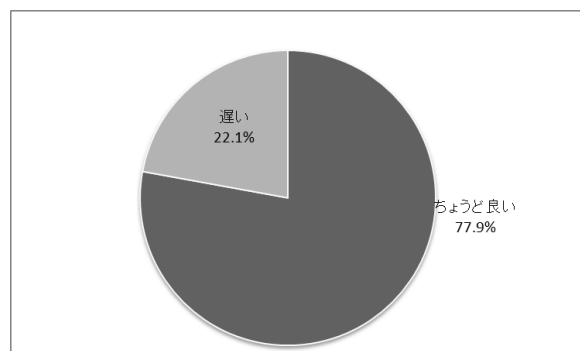
ちょうど良い	遅い	早い
181	35	33



《土曜日・日曜日開催会場》



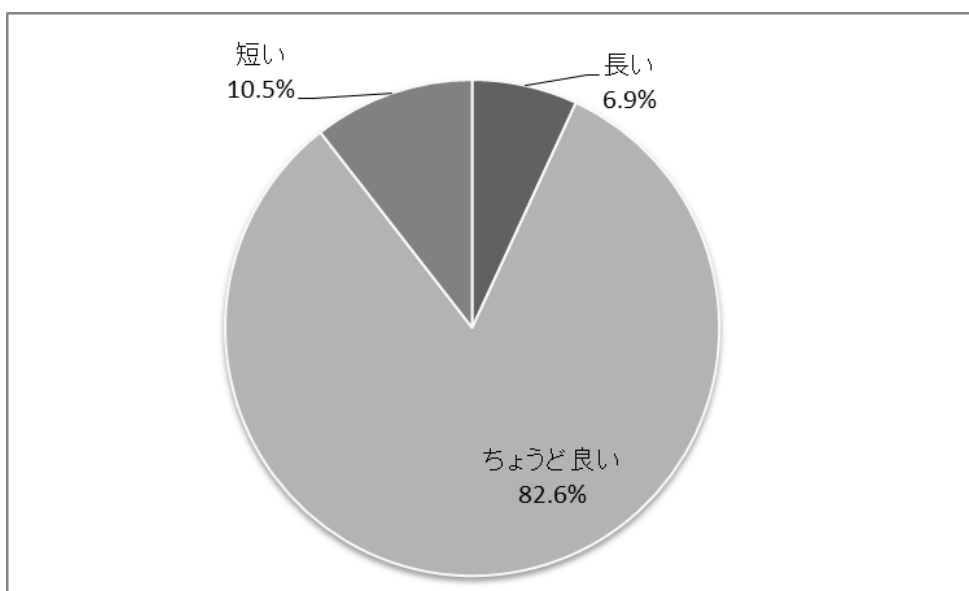
《月曜日・火曜日開催会場》



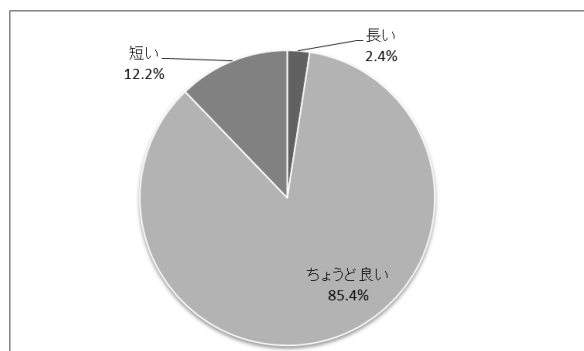
ちょうど良いという回答が7割以上でした。土日に開催した会場からは、開始時間が早いという回答が3割弱ありました。

③ 所要時間（１時間 30 分）について

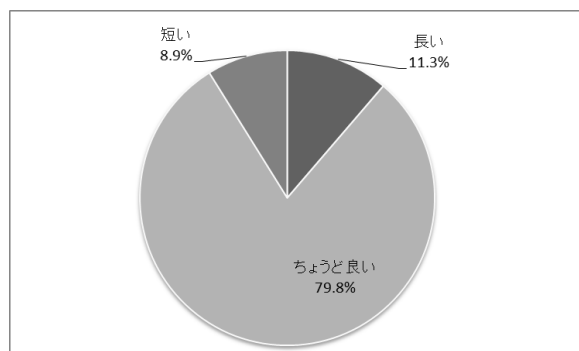
長い	ちょうど良い	短い
17	204	26



《土曜日・日曜日開催会場》



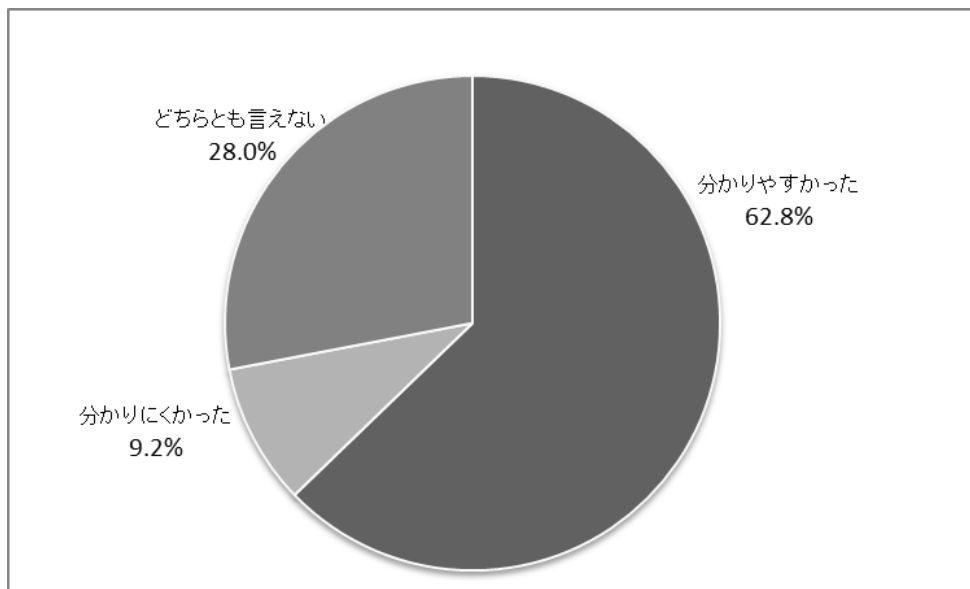
《月曜日・火曜日開催会場》



ちょうど良いという回答が８割以上でした。土日に開催した会場に比べると、平日に開催した会場では、所要時間が長いという回答がやや多めでした。

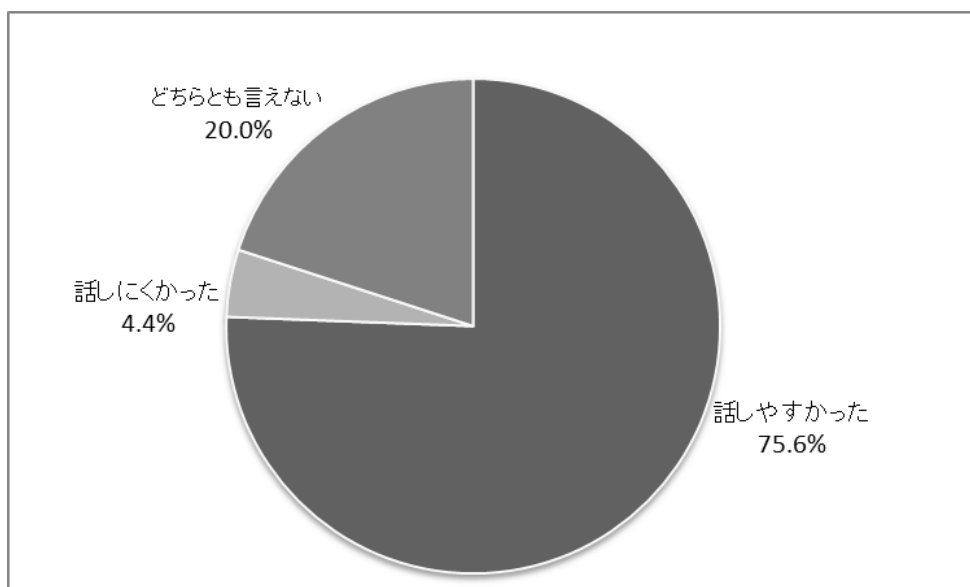
④ 議員の説明について

分かりやすかった	分かりにくかった	どちらとも言えない
157	23	70



⑤ 意見交換の手法（ワークショップ）について

話しやすかった	話しにくかった	どちらとも言えない
189	11	50



議会報告

平成 27 年 6 月定例会の補正予算に関する審議について報告しました。



地域情報システム整備事業

県内外のコミュニティFM局の経営状況やその分析を
専門的な事業者へ委託して実施する調査費

324万円

平成26年度
当初予算

コミュニティFM
設備整備事業費
を削減した修正案

あらためて調査

外部評価報告書

可決

市議会と
同様の指摘

1

コミュニティFM局とは？

東日本大震災
で特に注目

市町村など限られた地域で聴取できるラジオ放送

平成4年から開局可能となり、
全国で287局(H27/4)が開局中

二戸・盛岡・花巻・奥州
・一関・宮古・大船渡

防災・災害情報など地域に密着した内容

通常は自主番組やキー局の再送信などにより運営
収入源としてはCM、イベント、MC派遣収入等

全国のほとんどの局が赤字

2

地域情報システム整備事業に関する論点

- ・他の手段は念頭にない
- ・市民の声を聞くのが先
- ・事前説明が全く無い
- ・委託先も含めて白紙に戻すべき

外部評価
コミュニティ

- ・幅広く手段を検討すべき
- ・市民意識と当局のズレ
- ・特定事業者を想定か
- ・議会の決定を重く受け止

賛成13：反対12

修正案
可決

- ・他の情報伝達手段
も合わせて調査
- ・災害/防災情報提供
に必要

3

- ・H26年度当初予算の修正
時の指摘を受けての調査
- ・指摘事項は考慮している
- ・調査後に市民会議など
を開催

多面的機能支払交付金事業

取り組む組織が
増えた為の増額予算

当初32+4組織

更に+6で
42の見込み

3,587万円

多面的機能支払交付金とは？

H26から 農地・水保全管理支払交付金から変更

水路、農道、ため池および法面等、
農業を支える共用の設備を維持管理するための
地域の共同作業に支払われる交付金

4

多面的機能支払交付金事業

H27の変更点

- ① 計画制度：事業計画を作成し市町村の認可
- ② 交付ルート：国→都道府県→市町村→活動組織

交付時期が遅い、市の負担分を先行支払いできないか？

- ・新たな交付規則の作成に時間がかかっている
- ・国、県の負担分もあり、市負担分のみ先行支払いは困難
→昨年の9月交付よりは早くし、一括交付としたい

5

勤労者体育センター等整備手法調査事業

建替え案の一つ

調査費の内訳は？
武道館と位置づけるのか？

基本計画の策定：400万円
民間事業者から具体的なプランを提案してもらう調査費：900万円余

あくまでも現施設の「建替」
武道館は、「スポーツ推進計画」で検討

収益施設

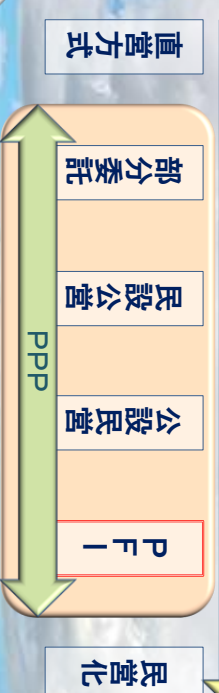
7

勤労者体育センター等整備手法調査事業

1,317万円

勤労者体育センターの建替を
PFI手法で可能かどうか調査する費用

民間委託の程度 小 大



6

街路灯設置事業費補助金

525万円

町内会や自治会で設置している街路灯のLED化等
に対しての補助金制度

補助額と想定する基数は？

- ① LED灯具への交換 37,500円以内
- ② LED灯具の新設 37,500円以内
- ③ 街路灯・柱の新設 67,500円以内
- ④ LED街路灯or柱の交換 28,100円以内

140基分

8

≪地域情報システム・コミュニティFM≫

No.	質問・意見・要望	回答・対応
1	なぜ市ではコミュニティFMをやろうとしていて、なぜ議会では反対しているのか。地域情報システム整備事業を削除する修正案が可決された理由は。	全国各地で様々な災害が多発している中で、情報を伝える手段が必要だという認識は共有していますが、様々な手法が考えられます。6月議会で提案のあった地域情報システム整備事業は、コミュニティFMありきの調査ではないのかという点に議論が集中しました。コミュニティFMに限定しないで、総合的に検討すべきとの議論があり、採決の結果、13対12で修正案が可決されました。
2	6月議会で削除された324万円の調査は、昨年度に実施されなかった調査とどのよう違うのか。	昨年度に計画されていた調査は、コミュニティFM局を開局するための電波調査でしたが、事業の凍結で実施されませんでした。今回予算計上された調査は、コミュニティFM局の持続的な運営条件についての調査が中心でしたが、コミュニティFMに限定しない幅広い調査が必要だとの議論がありました。
3	コミュニティFMは防災だけでなく文化創造の側面もある。黒字になりさえすればコミュニティFMは進めてよいということなのか。本当に必要なのか、市民が求めているのかという視点が大切ではなかったのか。調査費まで削除したのはどうだったのか。	まちづくりのツールとして必要ではないかという意見も出されました。防災だけでなく、まちづくりの観点からも考えながら、最終的にはどのような手法が良いのか議論しています。
4	既存のケーブルテレビでさえ十分に活用できていない中で、さらに赤字になるかもしれないコミュニティFMというのはいかがか。携帯電話など、あるものを活用するという考え方が良いのではないか。	コミュニティFMに限らないで幅広い調査をし、情報を伝える手段を整備すべきという議論が行われました。携帯電話の活用も有効ですが、災害時の情報伝達は1つの手段で完璧というものはないので、全体でどうあれば良いのかを検討しています。
5	各地で豪雨などの災害が発生しており、これまでも台風で大被害を受けている地域なので、市民の安全安心のために情報を伝える手段を早急に整備してもらいたい。有効な手段はないのか。議会の代案はあるのか。	情報を伝える手段の必要性は認識しているので、議会ではコミュニティFMに限定しないで検討し、ポケベル波の防災ラジオについて研究しました。このシステムは、電波が届きやすく、地域などを限定した情報の流し方もできますが、専用の受信機が必要となります。平成27年8月に、議会として市長に提言した上で、担当部との協議を始めています。
6	ポケベル波の防災ラジオは、災害時以外にも活用できるのか。	災害時に限らず活用できます。例えば、地域を指定して情報を流すこともできるので、地域づくりへの活用も可能です。

No.	質問・意見・要望	回答・対応
7	情報を受けるだけでなく、地域の情報を発信できるような方法が欲しい。	議会で調査しているポケベル波の防災ラジオでは、発信局の増設が可能なので、地域での情報発信にも活用できるシステムとなっています。
8	ポケベル波の防災ラジオを導入するためには、どの程度のコストが必要なのか。	導入費用はコミュニティFMよりも高額になると見込まれますが、国の補助制度の対象になるため、軽減は可能と思われます。
9	ポケベル波の防災ラジオを導入する場合には夏油高原スキー場にアンテナを建てるのか。そのメンテナンスはどうなるのか。	スキー場に送信局(アンテナ)を建てると、市内全域はもちろん、もっと広範囲まで電波が届くとのシミュレーションがあります。奥州市にメンテナンスできる会社があるので対応可能です。
10	今どれほどの人がラジオを聞いているものなのか。コミュニティFMについては、採算性についても重要だが、そのあたりを明らかにしてほしい。	FM岩手に委託している『さくら咲クラジオ』でも聴取率の調査は行われていません。リクエストなどの反応もあることから、ある程度の聴取者はあると思われます。コミュニティFMの採算性については、調査費を削減したために本格的な調査はできませんが、全国の約280局の8割近くが赤字と言われており、自治体の補助制度などにより、なんとか運営しているようです。
11	全国のコミュニティFM局の赤字の原因は何か。	全国的な傾向としてCM収入が減っていることもあり、運営は厳しくなっているようです。
12	コミュニティFMについて外部評価を行った政策評価委員会は、どのような人が委員になっているのか。	北上市政策評価委員会の委員は10人以内という規定になっています。現在の委員は10人で、大学の教授・研究員、NPO法人理事長、監査法人役員等によって構成されています。
13	国体に向けてコミュニティFMが必要ではないか。	国体は平成28年10月開催のため、今から準備しても本格運用は難しい状況です。
14	情報伝達について、山間部に届かなかったり、雨の日には聞こえないようなことでは困ると思うが、どのように検討されているのか。	天候や地形も考慮し、情報伝達手段を検討しています。
15	一関市では、防災ラジオを無料配布しているが、あまり活用されていないという話も聞く。このような市民に意見を聞く場をもっと設けてほしい。	一関市での専用受信機の活用状況までは把握しておらず、今後、調査したいと思います。また、情報伝達手段の検討に際しては、市民との意見交換も実施する予定となっています。

No.	質問・意見・要望	回答・対応
16	情報伝達について、当局と議員とで話し合うことがあってもよいのではないかな。	議会として調査研究している内容は、当局に提言し、担当部との協議を始めています。
17	更木地区はケーブルテレビが映らないので、情報を得るための手段を考えてほしい。 また、更木では花巻市のコミュニティFMを受信できるが、それを利用できないだろうか。	情報伝達手段を具体的に検討しているところですが、実際に広域の市町村でコミュニティFMを運営しているケースもあり、広域でのコミュニティFMの活用も検討します。
18	FM岩手の『さくら咲ラジオ』の運営は、市がどう関わっているのか。	『さくら咲ラジオ』は平成24年度から放送しています。市では、県の緊急雇用創出事業を活用し、年間3,000万円程の委託料を支出しています。なお、今年度で終了の見通しとなっています。

＜街路灯のLED化＞

No.	質問・意見・要望	回答・対応
19	街路灯LED化の補助金について、該当する市内の街路灯はどの程度あるのか。また、単年度事業なのか、それとも複数年の継続事業なのか。	市内で該当する街路灯は約2,800灯あります。来年度以降についての具体的な計画は聞いていませんが、非LEDの街路灯はまだ多く、今後複数年続く事業だと認識しています。
20	街路灯の補助金への申請が多かった場合には、どのような選考をするのか。今回の補助を受けられなかった自治会等から要望が多かった場合にはどうなるのか。	今年度は、140灯分の予算となっております。申請が多かった場合には、壊れている箇所や、経年劣化が著しいもの、消費電力が大きいものなどが優先されます。要望が多く、補助を受けられない団体が多いようであれば、制度の課題として議会としても取り上げていくことになります。
21	街路灯のLED化について、地域で予算化をしておらず対応が難しい。電気代を全額出してもらっているのが自治会では困っていない。補助金を出すより、市が実施した方がよいのではないかな。	地域の現状が厳しいのは承知しておりますが、自治会が所有する街路灯を市が直接改修することはできないため、補助金制度を設けています。現状については、当局へ申し伝えます。
22	市で管理している街路灯は平成26年度にLED化しており、地域間での不公平感があるのではないかな。負担金なしで実施するべきではないかな。	市で管理している街路灯については、当然市が整備しなければなりませんが、地域で管理している街路灯全てを負担金なしで整備するのは、財政面（税の公平性）から難しいと思われるます。

No.	質問・意見・要望	回答・対応
23	街路灯のＬＥＤ化について、市のアンケートには地元負担は 10,000 円以下が良いと回答したが、そうならなかったのはどういうことか。	当事業は、地域が管理している街路灯について、ＬＥＤ化によって電球や蛍光灯の使用期間が延びることから、削減できる交換に係る経費を勘案してこの負担額となっています。 地元負担は少なければ少ない方が良いということは理解しますが、他市の状況、財政面等総合的に検討した結果、当市では対象経費の４分の３に当たる金額を補助することになったものです。器具を交換する場合は、約５万円かかると想定しており、地元負担は 12,500 円程度となります。
24	昨年までは街路灯については地域から市に要望し、地域の負担なしで市が設置していた。なぜこういった補助金制度に変わったのか。中心部の設置が終わったので、周辺部は自分達でやれということなのか。	今後も要望に基づいて市が設置することになりますが、要望数に対し年間設置数が限られているため、要望からかなり待っていただいている状況です。この補助金制度で新設も可能ですので、活用をご検討願います。
25	今春に、各区に街路灯１本を無料で設置してくれるという話を聞いたが、それと今回の補助は別件なのか。	地域からの街路灯設置要望に基づいて、市内に毎年 20 灯前後を市が設置しておりますが、それと今回の補助制度は別件です。
26	ＬＥＤ照明の設置等の費用の根拠は。	調査の上で算出した一般的な金額をもとに補助額が設定されています。
27	ＬＥＤ化補助金の申請時に、工事金額の見積書を添付することになっているが、どういう意味なのか。自治会で作成するものか。	街路灯の交換のみの場合や、支柱の新設や交換の場合など工事内容によって補助額が変わるために見積書が必要となります。見積書は自治会で作成するものではなく、業者に依頼してください。
28	ＬＥＤ照明も 10 年程で寿命が来るので、市全体を 10 年計画で進めるべきではないか。	当局へ申し伝えます。

《多面的機能支払交付金》

No.	質問・意見・要望	回答・対応
29	多面的機能支払交付金の単価はいくらなのか。	10a 当たりの交付単価は、田で農地維持支払交付金が 3,000 円、資源向上支払交付金のうち、共同活動が 2,400 円、長寿命化が 4,400 円となっております。

No.	質問・意見・要望	回答・対応
30	多面的機能支払は活用されているのか。	平成 26 年度までは 32 組織が取り組んでいましたが、今年度は 43 組織の見込みであり、順調に活用されていると理解しています。
31	多面的機能支払交付金は何年間かの限定のものか。	平成 30 年以降は未定と聞いています。農業者だけでなく、地域の活性化にもつながるものであり、議会としても継続を要請していきたいと考えます。
32	多面的機能支払交付金について、市の負担は。	全体の 2 分の 1 は国が負担し、残りを県と市が 4 分の 1 ずつ負担しています。
33	交付金が適正に使われているのか議会でも検証しているのか。	県、市、及び事務支援や普及活動を支援する役割の岩手県地域協議会で監査されていますが、議会でも注視していきます。
34	活動に参加した人に支払うというものであれば、奉仕の精神が損なわれるのではないか。	交付金の使途は、取り組む組織によって様々ですので、これまでの地域のやり方を崩さずに交付金を活用することも可能と思われます。
35	多面的機能支払制度は、市道から農道へ格下げして活用することもできると聞いたが、この制度を利用すべきではないか。	市道から農道へ格下げして多面的機能支払制度を活用するには、その対象となる市道が今後農道として地域が管理していく道路であるのかを地域に確認する必要があります。道路舗装を実施するために、市道を一時的に格下げすることは不適切であり、本制度では対象になりません。
36	市の担当課について、農林部や都市整備部で分かりづらいものがある。	多面的機能支払交付金についての市の担当課は、農林部農林企画課となっております。

＜その他＞

No.	質問・意見・要望	回答・対応
37	勤労者体育センターの改修はいつになるのか。北上には武道に関する施設が貧弱なので、やはり武道館が必要ではないか。	『勤労者体育センター等整備調査事業』は整備手法の調査であり、具体的な改修が決まっているわけではありません。武道館は、スポーツ推進計画を策定する中で検討することになります。
38	和賀庁舎の有効活用を。この地域の良さを生かしたものになるようお願いしたい。	和賀庁舎を改装し、博物館の一部の展示を行う予定となっています。今後も活用について検討していきます。

No.	質問・意見・要望	回答・対応
39	市道等の草刈りで、通行者に損害を与えた際の補償について、市で保険のような対応策を検討してほしい。	地域で市道の草刈り等を実施する場合には、事前に届け出をしていただくと、保険の適用対象となります。手続き等は担当の財政課にご相談願います。
40	情報システムについて、携帯電話を使った連絡システムも検討してほしい。	防犯については、登録制メール配信により現在も実施しています。平常時の地域情報などについては、実施している自治体もあるので、市当局に、このような意見があった旨を伝えます。
41	自殺対策や子どもの貧困対策について、市ではどのように行っているのか。	《自殺対策》 自殺者は、平成 22 年度の 40 人をピークに 25 年が 27 人、26 年が 24 人と減少傾向となっています。市では、自殺対策の一つとして「こころの体温計」というストレスやいじめのサインを診断できるシステムを市のホームページからアクセスできるようにしています。そのほか、うつスクリーニングの実施や庁内に自殺対策連絡会議の設置等を行っています。 《子どもの貧困対策》 ①高校生等や大学生等を対象に奨学金の貸与事業を行っています。(平成 25 年度は高校生等 6 名、大学生等 91 名の計 97 名。26 年度は高校生等 4 名、大学生等 87 名の計 91 名に貸付) *継続も含む ②要保護及び準要保護児童・生徒を対象に、学用品・給食費・医療費・修学旅行等の援助を行っています。(小学生 281 人、中学生 164 人)
42	北上地域プレミアム商品券は、お金と暇がある人だけが得をする方策だと思われる。もっと別の方法が良いのではないか。	平成 27 年 4 月に販売したプレミアム商品券については、被災者や低所得者に配布することとしており、広く支援する方法を取っております。
43	I L C は北上にどう関係するのか。	I L C 関連産業に参入できる企業にとっては大きなチャンスであることから、市内企業に周知すると共に、参入できる企業がないか探っていきたいと考えております。
44	工業・技術系の大学が必要ではないか。	市でも必要性を認識しており、平成 15 年より市内に岩手大学金型技術研究センターを設置し、地域の金型関連企業における技術力の高度化を図ると共に、研究開発や人材育成に力を入れております。

No.	質問・意見・要望	回答・対応
45	農振の解除をもっと簡単にできないか。例えば、農業委員会が現地を見て判断していくような改正をしていくべきではないか。	農振除外は、農地転用を希望する農地が農振地域内の農用地であった場合に行う手続きです。農振除外するためには、申出者は農用地の利用計画変更（農振除外）を市に申出を行い、その内容が計画変更（農振除外）の要件とすべて合致し、各関係機関（農業委員会等）、からの同意、県からの同意が得られた場合、市が計画変更（農振除外）の手続きを行います。手続き後、30 日間の公告縦覧、15 日間の異議申立期間（どちらも市民からの意見聴取）を経て計画変更の決定が行われ、農振農用地からの除外となります。これらは、県の同意確認以外はすべて法律の基づいて行われております。 市が策定した計画について、関係団体及び市民からの意見を聴取した上で計画変更を行っており、市の農業振興にとって重要な計画の変更と考えております。
46	中部病院の通りの水道管を取り付ける際に地面を掘ったが砂利道のままであり、歩行や自転車での通行に支障がある。雪が降る前に舗装してほしい。	道路占用者である岩手中部水道企業団により、8 月には舗装工事を完了したことを確認しました。
47	後藤野工業団地に北上プライウッドが稼働し始め、大型トラックが毎朝 4～5 台来ている。交通量が多くなってきており、県道への歩道設置が必要ではないか。	そのような声があることは認識しており、市では後藤野野中線の歩道設置と道路の拡幅整備を県に要望しています。県からは、今後の交通量の推移や県全体の進捗等を踏まえ検討するが、早期の事業化は難しいとの回答でした。
48	孫屋敷の幹線 6 m 道路の舗装整備を早急にやってほしい。	当局へ申し伝えます。他の状況も勘案しながらの検討となります。
49	黒岩の神行田線鴻之巣線の残部分の除雪がされないの、冬は出かけられないほど大変な状況になっている。	産業県建設常任委員会の委員長と副委員長で現地の確認を行いました。原則、未舗装道路は除雪しないこととなっておりますが、地域の方が小型除雪機などで道路の除排雪をする場合に支援を行う「地域除排雪制度」の活用も考えられますので、道路環境課へご相談下さい。
50	道路の除雪はチェックする体制が必要ではないのか。チェックされないと改善につながらないのではないのか。	除雪の状況は G P S で管理しており、毎回巡回して確認するという体制にはなっていませんが、苦情の多い箇所等の状況確認を行い、改善の指示が出されています。また、除雪車の増強などにより、苦情件数は減少しております。

意見交換

「わがまちの いいところ・わるいところ」
をテーマに、ワークショップ形式で
さまざまな御意見をうかがいました。



いいところ

わるいところ

人口の増加

- ・若い転入者が多い

地域のつながりの希薄化

- ・人口は多いが、地域の行事に出てこない
- ・地区のリーダーの後継者作りの努力が足りない
- ・諸事業に、青年、壮年層の参加が少ない

スポーツ施設が必要

- ・公共的な屋内プールやスケート場がない
- ・土日祝日に自由に使用でき、夜間照明のあるテニスコートがない
- ・冬期間の運動不足を解消するための施設、特に高齢者が運動できるところが必要

整備された図書館

- ・図書館が整備されている

明るい子どもたち

- ・児童生徒が明るく、登下校時の挨拶がすばらしい。

少子化

- ・子どもが少ない
- ・子どもたちが遊ぶ場が少ない

買い物の利便性

- ・買い物が便利
- ・日用品が近くで揃う

幅員の広い道路

- ・他市町村に比べ、道路幅があり、利便性が高い

道路管理・整備が不十分

- ・旧市民会館付近、東西の右折レーンが無いので危険
- ・産業道路は朝渋滞する
- ・住宅地域の道路は清掃が行き届かず汚い感じがする
- ・除雪の方法が悪い
- ・玄関先に雪の塊を置いていくのは迷惑なので、除雪の方法に工夫が必要

公園管理の課題

- ・公園の中の外灯を時間で消すのはどうか、西公園のトイレを毎日我が家のトイレのように使用している人がいる

地域行事の継続

- ・6行政区ごとに、盆踊りや運動会など諸々のイベントを継続している

駅前が活気が足りない

- ・駅前通りに通行人が少なく活気がないので、集客の対策を考えてほしい

その他

- ・さくらホールの看板が小さくて見えにくい
- ・時代の流れを読んだ身の丈にあった行政運営が必要
- ・行政の執行部に馴れ合いがあるのではないか

ボランティア活動

- ・子どもの見守りをボランティアでやっている

人口の増加

- ・人口が増えている
- ・黒沢尻東地区は住みやすく、住民が増えている

中心部の人口減少

- ・中心部のローナツ化で少子化
- ・空き家が多くなってきている

水害の心配

- ・北上川が増水すると川岸団地、東川岸が崩れる心配がある
- ・北上川の増水で水害の心配

暮らしやすい環境

- ・県内で一番住みやすいと実感している
- ・学校や病院が近い
- ・災害が少ないところが良い
- ・交通の便が昔より良くなった
- ・古城場の公園が整備されている
- ・人が集まるまちにしては、落書きがほとんどない

豊かな観光資源

- ・桜百選の公園がある
- ・東北で一番積雪量のあるスキー場がある
- ・夏祭りや花火を継続してやっている
- ・県内外から来る人への接し方が良い

観光客の減少傾向

- ・北上に魅力を感じて観光に来る人が少ないのではないかな
- ・夏油高原スキー場を何とか年中利用できる計画としてほしい

介護保険の課題

- ・老人施設は、費用が高く、数も少ない
- ・老人施設は低料金でも入れる施設がほしい
- ・介護保険料に苦しんでいる

小学校の課題

- ・小学校の学級数がアンバランス（黒東小は多く、黒西小は少ない）
- ・東小学校を新しくしてほしい（トイレに行きたがらない子どもが多い）

商業の課題

- ・中心部の集客が悪く、街中が寂しい
- ・プレミアム商品券は工夫が足りなかったのでは

地域内での活動

- ・ゴミ当番が徹底している
- ・川岸（15区）はとても行き届いている
- ・真面目なボランティアの人が多い

その他

- ・あじさい型のまちづくりは良い
- ・企業誘致がうまくいつている
- ・祭展の余地がある
- ・雪が多いことに対応して北上駅にスリッパが設置されている

地域のつながりの希薄化

- ・特に若い世代は地域とのつながりが少なくなっている
- ・地域と関わりを持たない人が多い
- ・20区6班は近所付き合いが薄く、高齢者が多く、いざというときに隣近所に知らせる設備もない

道路管理・整備が不十分

- ・横断歩道や信号など、車社会に対応する点検が必要
- ・国道107号に信号機が少ない（特に大型スーパーの前）
- ・里分5地割除屋敷線幅狭い」と通行できない
- ・諏訪町の一方通行と歩道と自転車道の入りロやチェーンが悪い
- ・毎年除雪に苦労している

その他

- ・ボテシヤルを生かして欲しい
- ・16地区の代表などの世話役の報酬が少ないまたは無い
- ・ボランティアが高齢となっていることに行政が無関心
- ・年金の金額が少ない
- ・若い人が集まるように大学誘致はどうか
- ・雇用が良いというが、正社員ではないのではないかな
- ・市議会議員がもっと16地区の活動に関わったほうが良い
- ・子どもが他県に行っているの、遺品の整理など、家の中の整理を考えると心配になる

いいところ

わるいところ

豊かな自然

- ・北上は自然が豊か
- ・自然が多く美しい
- ・湧水が多い

環境美化の活動

- ・駅前通りの花壇が良い
- ・街の中にゴミがない

タバコのポイ捨て

- ・タバコのポイ捨てが未だにあるので条例化してほしい

商業施設などが近い

- ・病院、市役所、百貨店、郵便局が近くて便利
- ・身近な商店がもっとあればいいが、他の地区に比べると恵まれている

シャッター通り化

- ・市街地のシャッター通り化が深刻

交流センターが活用されている

- ・黒沢尻西地区交流センターは利用者が多い

交流センターの体制強化が必要

- ・交流センターへの施設の充実や人的配置をお願いしたい

子育て環境

- ・未就学児を対象としたミニミニ運動会を開始して父母に喜ばれている

- ・小学生の挨拶はうれしい
- ・子どもたちの挨拶が良い

教育の課題

- ・西小学校の児童が減少しているので、学区の見直しは柔軟に

- ・コミュニケーションをとるためにも、小中高校生が十分に遊べる場が必要。

除雪への不満

- ・除雪が不十分であり、交差点の雪を除いてほしい
- ・雪捨て場がない
- ・国道4号の除雪の回数が少なくなったと感じる
- ・除雪が下手であり、もっと丁寧にしてもらいたい
- ・除雪は業者によって差があるので、小学校周辺は市で監視、チェックしてほしい。
- ・除雪した雪を片付けるのは高齢者には大変

ゴミ出しのルール徹底が必要

- ・アパートではゴミ出しのルールが守られていない
- ・ゴミ出しについて、対象地区外からの持ち込みがあるので、ルールの徹底が必要
- ・ゴミの不法投棄を目にする
- ・アパートへのゴミステーション設置を指導してほしい
- ・集合住宅のゴミ対策が必要

空き家・空き地の管理

- ・空き家が多い
- ・空き家周辺の雑草が気になる
- ・地主が不在の空き地の草対策に困っている

補助の必要性

- ・地域のまわりの山車や囃子に補助金を多くしてほしい
- ・さくらまつりの時のおいらんど道中は大変そうなので補助してはどうか

いいところ

わるいところ

自慢の農作物

雇用の場が多い

- ・工業の集積が東北有数
- ・選り好みしなければ仕事はある
- ・雇用の場が多い

- ・米がおいしい



農業の課題

- ・農産品のブランド化の推進と生産体制整備が必要
- ・食料自給率を上げる取り組みが必要
- ・休耕田の活用として、市民が利用できるための整備が必要

道路管理・整備が不十分

- ・通学路の歩道を整備する必要がある
- ・黒西小の通学路の表示がない
- ・北上郵便局の裏は道路が狭いので、用水路にフタが必要
- ・歩道の未整備が多い
- ・道路整備が遅れている
- ・中央図書館西側の歩道がでこぼこ
- ・バリアフリー化が遅れている
- ・カラー舗装だけでなく、はっきりと歩道と車道を分けるべき
- ・スクランブル交差点に疑問がある
- ・地域計画として側溝のフタを順次交換するようにしていない
- ・街路灯の柱の間隔を30mに変更するようにしてほしい
- ・大通り三丁目四丁目は街路灯が離れて、歩道が暗い
- ・街路灯は防犯上から必要

ボランティアの活動

- ・公園の草刈など、ボランティアをお願いすると集合してくれる
- ・小中高校生や一般のボランティア活動がある

その他

- ・北上は北東北の十字路で、交通の便が良い
- ・九年橋が完成して大変良くなった
- ・九年橋が開通した
- ・元気な高齢者がまちづくりをがんばっている
- ・公共施設にソーラーパネルが設置されたのは良いこと
- ・黒沢川のバイパス工事が完成したようが良い
- ・観光資源が多い
- ・温泉が近い
- ・すばらしい民俗芸能に恵まれている
- ・水道の水が良い

旧北上病院の課題

- ・旧北上病院跡地利用について、早期に結論を出してほしい
- ・7区にあった北上病院の宿舍はどうにかならないか

その他

- ・林業振興が遅れている
- ・市民交流プラザの利用料が高い
- ・世帯数に差があるので区割りの再検討が必要
- ・展勝地の工事が長過ぎる
- ・最期まで自宅で安心して暮らせるシステムがあれば良い
- ・上流の下水を完全に処理してほしい
- ・野良猫の餌付けへの対策をお願いしたい
- ・ケーブルテレビの内容充実と、スポンサー確保が必要
- ・どことは言わないが、高額請求する飲み屋がある
- ・消火栓の点検が必要ではないか
- ・挨拶が活発ではない
- ・旧北上スーパーの駐車場には防犯灯が必要
- ・生垣の手入れをしていないところがある
- ・意見を言わない人が多い
- ・「県道相去飯豊線大通り三丁目から本通り一丁目（旧新町通り）地内の道路拡幅整備」に関する請願書（平成9年2月）以後はどうなっているか

立花

いいとこ

わるいところ

豊かな自然

- ・自然環境が良い
- ・立花は自然に恵まれている
- ・展勝地は北上川との組み合わせが良い
- ・展勝地公園がある
- ・市の中心部から里山が見える
- ・里山と集落のたたずまいが良い
- ・夕日が見える
- ・空気がきれい

雇用が多い

- ・市内には、働く場所がある
- ・就職先が多い
- ・市全体では工業が盛ん

交通の便が良い

- ・立花は市の中心部からのアクセスが良い
- ・街に近く、生活に便利
- ・交通の便が良い

地域のまとまり

- ・地域行事、まつりなどの活動が盛ん

その他

- ・ウォーキングコースがたくさんある
- ・湧き水の遊歩道がすてき
- ・市内には飲食店が多い

- ・北上は山も川も平地もあって、岩手で一番住みやすい

- ・文化的遺産がある

人口減少・少子高齢化

- ・高齢者世帯が多い
- ・少子高齢化が進んでいる
- ・定住化の取り組みが不足している
- ・空き家が多い

- ・農業振興地域で宅地が少ない
- ・人口は微減、世帯は微増している

- ・少子化対策として、子どもを育てる環境の対策が不足
- ・保育園が足りない

農業の課題

- ・休耕地をどうにかしないといけない
- ・耕地が狭い
- ・農業の後継者がいない
- ・農業後継者の先細り
- ・りんごやぶどうのPRがもっと必要

学校適正配置

- ・小中学校の統合を早くしてほしい
- ・小学校の統廃合の具体的な展望がほしい

下水道の未整備

- ・公共下水道が入っていないところがある
- ・下水道がない
- ・立花の下水道の面積が狭い
- ・トイレを水洗にしてほしい

展勝地の管理

- ・展勝地は、桜の後はツツジだけなので、年間を通して花を植えるなど、通年の公園と考えてはどうか。
- ・公園管理プロがないので手入れが悪い
- ・展勝地の運営に疑問があり、国際化への対応や収益事業の企画が必要ではないか

さくらまつりの要改善点

- ・さくらまつり期間の交通渋滞の解消が必要
- ・展勝地の交通状況に改善が必要
- ・さくらまつりの際に、山の方にも出店させてはどうか

若年層や市職員の地域参加不足

- ・各種の会議や行事等に若い人の参加が少ない
- ・市職員の地域活動が不足している

道路整備が不十分

- ・道路が狭くて曲がっていい整備されていない
- ・17区は特に道路が狭い
- ・防災面からも道路環境の整備が必要
- ・道路事情が良くない
- ・道路の改良が不足
- ・立花小学校の通学路に歩道がない

その他

- ・北上の名物が足りない
- ・北上駅前がさみしい
- ・堤防が計画通りに完成していない
- ・税金が高い
- ・若い世代が立花で起業できるような情報提供が必要

- ・みちのく芸術まつりは、もっと賑わいのあるようにやってもらいたい

- ・里山を生かしていない
- ・里山が悪い

いいところ

わるいところ

地域のまとまり

- ・地域の協働に協力的
- ・町民運動会が活発で、約3000人が参加する
- ・飯豊地区の運動会が盛大で良い

転入者が地域に馴染めない

- ・転入者が地域や自治会に馴染まない傾向にある
- ・他市町村より人口流入は良いが、地区に溶け込めていない

道路整備が不十分

- ・生活道路整備が遅れている
- ・飯豊地区は道路整備が遅れている
- ・道路の新設計画が進んでいない
- ・歩道は広い方が良い
- ・道路側溝（排水溝）がない
- ・国道4号交差点の信号機や右折レーンといった整備が良くない
- ・街路灯が少ないところがある
- ・道路が暗い

人口の増加

- ・人口が増えている
- ・他の地域より子どもの数が多い

少子化・子育て施設の課題

- ・子どもが少ない
- ・藤沢からは学校が遠い
- ・子育て施設が、市の中心部や江釣子に偏っている

暮らしやすい環境

- ・病院が近い
- ・静かで安全なまち
- ・災害が比較的少ない
- ・高速道路、新幹線、空港まで約20分くらいで、交通の便が良い

中部病院に関する課題

- ・中部病院に近いが、紹介状が必要なのは不便
- ・個人病院が少ないと感じる
- ・中部病院前の道路の交通量が増加しているが、運転マナーが悪い
- ・救急車の音がうるさい

地域間の格差

- ・文化、スポーツ、公園等が市中心部より南にあって北には少ない
- ・行政施策が南高北低である
- ・飯豊地区には投資的な経費が殆どない
- ・飯豊地区の行政区は区切りが大きく、集会所の数も不均衡である

豊かな自然

- ・自然が多くて静か
- ・景色や空気が大変良い

介護施設の不足

- ・介護施設（特に療養型介護施設）が充足していない
- ・特別養護老人ホームが少ない

企業誘致に成功

- ・企業が多い
- ・誘致企業がうまく進出している

雇用・工業の課題

- ・大卒の就職先が少ない
- ・学歴が高い人の仕事が少ない
- ・工業排水が漏れた問題もあり、点検の実施が必要

その他

- ・北上はコンパクトシティになっている
- ・飯豊には工業団地も農地もスーパードもあり、偏っていない

交流センターの課題

- ・16地区の交流センターの事業や補助金に格差がある
- ・交流センターには歩いて来れない
- ・交流センターの機能が完全ではない

その他

- ・観光資源に恵まれている風光明媚な場所なのに、情報を発信する手段がない
- ・若者が魅力を感じるような大型商業施設がない
- ・交通量が多くなっているが、駐車場が少ない
- ・公共交通（コミュニケーションバス）が不便
- ・すみよさラフキングのバランスが悪い
- ・空き家が増えつつある
- ・国や県の施設が少ない
- ・下水道は幹線不足
- ・市政は守りだけでなく攻めの施策を期待する
- ・税収を稼ぎ出す考えが少ない

二子

いいところ

わるいところ

二子里芋など農業が盛ん

- ・市の特産の里芋が宝
- ・二子里芋を売りにできる
- ・いもまるくんの家族ががんばっている
- ・二子いもが有名
- ・お米などの農作物が安全でおいしい
- ・一次産業が盛んに行われている
- ・圃場整備が進み、働きやすい環境が作られている

豊かな自然

- ・自然豊かなところを大事にしたい
- ・閑静で良い

空き家の増加

- ・空き家が増えている
- ・空き家が目立つようになってきている
- ・空き家の増加

道路整備が不十分

- ・農道の舗装が遅れている
- ・道路インフラの整備が遅れている
- ・常盤台から二子に通じる道路はどうなっているのか（都市計画道路）
- ・防犯灯が少なく、暗い道が多い

松くい虫の被害

- ・松くい虫の被害で、立ち枯れが目立つので、見えるところだけでも植栽してはどうか

歴史や民俗芸能

- ・市全体的に歴史と文化が豊富でよい
- ・13の集落に18の民俗芸能がある

地域のまとまり

- ・二子町民運動会の参加率が高い

地域のつながりの希薄化などの課題

- ・豊かになった反面、地域のつながりが薄くなっている
- ・若い人たちの顔が見えない
- ・他の人に関心を持たなくなった
- ・交代勤務をしている若者が仕事優先なので地域活動に参加しない

雇用の場が多い

- ・企業誘致に成功している
- ・工業団地があり、雇用の場がある
- ・働くところが多い

その他

- ・二子には公共施設がない

- ・公共下水道の敷設率が悪い

- ・買い物物が不便（二子小学校・中学校付近にコンビニとかなない）

- ・北上市は税をとるのは早いが市民に出すのは少ない（ゴミ有料化）

- ・北上市は自殺者が多いと聞くので、秋田にならって対策を強めてはどうか。

人口の増加

- ・北上市は活気があつて人口が増えてきた

少子化・学区再編

- ・子どもが少ない
- ・学区再編（飯豊9区）が必要

その他

- ・病院が多い
- ・市内には学校が多い
- ・平成橋の開通が待ち遠しい
- ・誰でも生活の支援が受けられるようになっている

いいところ

わるいところ

地域のまとまり

- ・地域にまとまりがある
- ・近所とのまとまりが良い
- ・アパートがないため、コミュニティのまとまりが良い
- ・人間関係が良い
- ・コミュニティが協力的
- ・コミュニティが小さいのでまとまりがある
- ・地域住民が皆知り合いのため、コミュニケーションがとりやすい

魅力的な住民

- ・人柄が穏やか
- ・協調性がある
- ・人情味がある
- ・地域住民は何か活性化しようとしている
- ・助け合いの精神がある

豊かな自然

- ・自然が多い
- ・自然に恵まれている
- ・景色がきれい
- ・緑が多く、水と空気がおいしい
- ・展勝地の桜が良い
- ・山、川、水が豊か
- ・緑が豊かで目に優しい
- ・自然が豊か

交通の便が良い

- ・交通の便が良い
- ・空港や駅が近い
- ・ショッピングセンターや病院まで適当な距離

暮らしやすい環境

- ・災害がなく住みやすい
- ・静かな環境で住み良い
- ・雑をかけたなくても泥棒に入られたことがない

地域のつながりの希薄化

- ・住民が消極的
- ・地域の役割分担で、積極的に参加してくれない
- ・地域の会議等は全て同じようなメンバーになる
- ・意見が少ない
- ・女性が見えを言う機会が少ない

公共交通が弱い

- ・コミュニティバスの便が悪い
- ・バスの便が悪い
- ・公共交通が少ない
- ・公共交通が不便
- ・車がなければ必要な場所まで行けない
- ・公共交通が減っている

宅地が少ない

- ・農振地域のため、住宅地が少なく、条件も悪い
- ・宅地が少ない
- ・住宅団地があれば良い
- ・宅地としてアピールできない

人口減少・少子高齢化

- ・若い世代が少ない
- ・高齢化が急速に進み、若年層が少ない
- ・若者が定着できる要素がない
- ・少子化、高齢化が進んでいる
- ・子どもが少ない
- ・幼稚園や小学校は廃止になるとの話があるが、存続してほしい。
- ・小学校を存続できるように、人口を増やす対策が必要
- ・定住のための取り組みを促進したい

道路管理・整備が不十分

- ・昭和橋には歩道がないため、北上北中の生徒は冬期間大変危険である
- ・山間地の道路は倒木があったり危険なこともある
- ・県道にゴミのポイ捨てが多い
- ・街路灯が少なく、夜道が暗い

山の荒廃

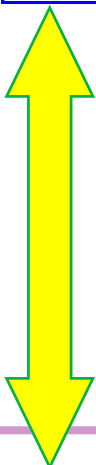
- ・山が荒れている
- ・松くい虫の被害にあった樹木が道路に倒れそうになっている
- ・荒地が多い
- ・山林が荒れている

いいところ

わるいところ

雇用の場が多い

- ・工業団地が近く、働く場が比較的多い
- ・市内には工場が多い



地域産業の不足

- ・更木には良い産業が少ない

農業の取り組み

- ・更木では6次産業の取り組みが進んでいる
- ・地場産業をがんばっている
- ・農事組合法人さらきが立ち上がって動き出した
- ・農事組合法人設立により、大型農機が動きやすい

高齢者が元気

- ・高齢者が元気
- ・100歳を迎える高齢者が4名もいる
- ・健康年齢を延ばすための実践ができる素地（田畑など）が十分ある

優れた教育環境

- ・子どもたちがのびのびしている
- ・小学校の教育が一対一のように勉強がスムーズ
- ・子どもたちの挨拶が良い

その他

- ・静かで自然豊かで、農作物がおいしい
- ・しらゆり公園が整備されている
- ・民俗芸能が盛ん
- ・雪が他の地区より少ない
- ・グラウンドゴルフ場が良い
- ・限界集落であることを過度に悲観的に捉えていない

施設や商店等が遠い

- ・郊外の商店が少なくなっている
- ・ショッピングモールが近くにない
- ・地域内に病院がない
- ・公共施設が少ない
- ・北上にはレジャー施設がない

その他

- ・地域を発信していくアピール力が足りない
- ・水道料が高い
- ・山間部が多すぎる
- ・農事組合法人さらきのことがよく分からない
- ・生活インフラ整備が行き届かない
- ・結婚を推進すべき
- ・川東地区のイメージが悪い
- ・河川敷が汚い
- ・空き家が多い
- ・北上市には特産品が少ない
- ・ビオトープが利用されていない
- ・補助金に固執して不要なものまで作るうとする人がいる
- ・独身者が多い
- ・縄文まつりは、よくわからないのでいらない
- ・救急車が来ると、気になって人が集まる

黒岩

いいところ

わるいところ

歴史や民話

- ・歴史が深い（白山社、千曳城、二所ノ関）
- ・民話がたくさん伝わっている。

まんなか広場とお滝さん

- ・地区民の共有財産である「まんなか広場」がある
- ・まんなか広場は地域の財産
- ・まんなか広場やお滝さんを中心に活気が出てきた
- ・お滝さんがいい所だと言われる

暮らしやすい環境

- ・市内と適当な距離があり、暮らしやすい
- ・市の中心地に近くて良い
- ・農業集落排水、下水道が完備している
- ・ケーナルテレビがある
- ・固い地盤で地震に強い

豊かな自然

- ・景色の良いところが多い
- ・自然がいっぱいで良い

地域のまとめり

- ・小さな地域でまとめりがある
- ・人の交流が盛ん

山の荒廃

- ・自然は多いが山に入ると荒廃している
- ・山林が荒れ放題である

人口減少・少子高齢化

- ・少子高齢化が進んでいる
- ・高齢者世帯が多い
- ・小学校の存続が難しい
- ・公共施設が少なくなっていく

空き家の増加

- ・空き家が多い
- ・空き家が増えている
- ・空き家が年々増加傾向で、地域の人口減少が進む中、若者のUターンを望む

公共交通・買い物物の心配

- ・公共交通がない
- ・10年後の交通の方法が心配
- ・年をとると買い物難民になるのではと心配
- ・黒岩は商店過疎地になってしまった

安全上の不安

- ・地域が暗いので街路灯を増やす必要がある
- ・消防団が定員を割っている
- ・水害を防ぐため、国に早期の堤防計画をお願いしたい

道路整備が不十分

- ・市道の整備が必要
- ・地区全般に道路が狭い
- ・他地区へのアクセスが細かい
- ・県道を通る大型トラックで近所の家は振動が大きい
- ・特に生活道路の面では、同じ地域であっても格差がある

自慢の農作物

- ・土がよいので農作物がおいしく、もっとPRしてほしい

農業の課題

- ・農地が狭いこともあり、黒岩ならではの特産品がない

その他

- ・企業集積が進み、雇用の場が多い
- ・そば打ちの名人がいる

その他

- ・桜並木入口のトイレにオムツ交換台がない

- ・18歳選挙権は決定したが、投票の仕方より、政治に関心を持てるようにわかりやすい言葉を

口内

いいところわるいところ

豊かな自然

- ・自然が豊かで、巨木も多い
- ・ホタルが生息する自然環境
- ・自然豊かで、ホタルがいっぱい
- ・水源が多い

地域のまとまり

- ・地域の連携に富んでいる
- ・コミュニティの絆が強い
- ・浮牛城まつりの開催で、地域が団結している
- ・地域のまとまりがあり、若者が参画しやすい雰囲気がある
- ・たとえ不平不満があっても、共同作業には参加してこる協調性がある
- ・団結力がある
- ・近所付き合いが良い
- ・口内は人と人との絆がある
- ・浮牛城まつりが賑やか

良好なアクセス

- ・信号機が少ないので、北上駅まで早く行ける交通の便の良さ
- ・交通の要であり、奥州・花巻・北上へと行きやすい
- ・水沢・花巻・北上中心部までおよそ20分とちょうど良い距離で住みやすい

民話や民俗芸能

- ・民話や、民俗芸能が多くて素晴らしい
- ・自然や歴史が尊重されている地域

その他

- ・市全体では所得も高く、発展している
- ・観光地にはなっていないが、芝桜など花づくりをやっている場所がある

肥沃な農地と自慢の農作物

- ・土壌が肥沃で、味が抜群の農作物
- ・自給自足に強い
- ・北上川や和賀川の水害の心配がない広大な農地がある
- ・米やりんごがおいしい
- ・土地が広く、好きなことができる
- ・たとえ災害が起きても食料はあり、ある程度暮らしていける

静かな住環境

- ・静かで良い
- ・騒音もなく、静かで暮らしやすい
- ・他市町村からの移住者が安心できる環境

人口減少・少子高齢化

- ・人口が減少しているが、2000人は確保したい
- ・子どもが少なく、高齢者ばかり
- ・小学校の存続が心配
- ・少子化が進んで人口が減少している
- ・人口減少が続いている
- ・高齢者が多い。
- ・近所に若い世代が住んでいない

農業の課題

- ・農地の放棄地が増えてきた
- ・昔に比べ、放置されている農地が多い
- ・農業政策がない
- ・ぬかり田ばかりで大変
- ・ニホンジカの害がでている

道路整備が不十分

- ・市で全体的に道路が悪い
- ・口内の道路整備が遅れている
- ・456号に歩道が無いので危険
- ・除雪体制が良くないので、緊急車両の通行が困難になる
- ・街路灯が少なくて暗い

交通量の増加

- ・交通量が多く、朝夕の移動が困難（通過車両が多い）
- ・トラックの交通量が多い

空き家の増加

- ・空き家が増えてきた
- ・空き家が年々増えている

地域間の格差

- ・市全体では、地域間の格差が大きい
- ・市は中心部重視で、和賀町河東地区は軽視されている
- ・市では口内のことをどう思っているのだろうと感じる
- ・声をしっかりと聞いてほしい
- ・「口内も北上だよ」と言いたくなる
- ・何となく西高東低を感じることがあり、心細く思う
- ・周辺部との連携が不十分。周辺連合の結成が必要
- ・市は周辺部が北上の宝であることを往とした施策をつくるべき

通院・買い物への不安

- ・病院が遠い
- ・診療所が4月からなくなった

- ・商店が少ない
- ・バス等の公共交通が貧弱
- ・交通の便が悪い

その他

- ・ゴミの有料化など、市は新しいことをやっていた
- ・ゴミの有料化は北上だけ
- ・専門学校や大学等の高等教育機関が少ない
- ・二次産業は多いが、三次産業の職が少ない
- ・熊が出没した時に市に電話するしか対策がない
- ・水道料金が高い

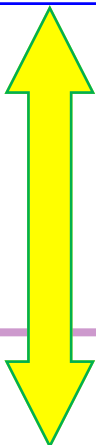
稲瀬

いいところ

わるいところ

地域のまとまり

- ・地域内のコミュニケーションが良い
- ・地域で人のつながりがある
- ・住民の団結力がある
- ・ボランティア精神がある



人口減少・少子高齢化

- ・人口減少で高齢化が進んでいる
- ・高齢化が急速に進行している
- ・若者が少なくなり、高齢者が多い
- ・一人暮らしの高齢者が多くなっている
- ・高齢者支援は、支えるだけでなく、自活できるような取り組みが必要
- ・人口減少が進んでいる
- ・高齢者は多いが、子どもは少ない
- ・高齢者を活性化させる方法を考えてほしい
- ・除雪をする人が高齢になっている

魅力的な住民

- ・真面目で働き者で、優しくステキで、親切な人が多い
- ・色々なアイデアを持っている人が多い

子育て環境

- ・保育園、小学校、学童保育所がある
- ・子どもたちの挨拶が気持ちいい
- ・素直な子どもしかいない
- ・念仏剣舞は子どもたちの力で続いている

高齢者が元気

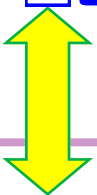
- ・元気のいい高齢者が地域づくりを支えている
- ・長寿地域である

豊かな歴史や自然環境

- ・歴史的に重要な国見山、権山、聖塚がある
- ・歴史遺産がある
- ・自然が豊か
- ・自然に恵まれ環境が良い
- ・静かが良い

自慢の農作物

- ・おいしいトウモロコシが作られている



農業の課題

- ・農作物のブランド化がいまいちである
- ・農業と工業のバランスが悪いのではないか
- ・ホクビシン、タヌキ、シカ、カモシカに作物を食べられてしまう

その他

- ・コンビニに立ち寄る人が増えている
- ・ラーメン屋が地域住民の交流の場となっている

- ・治安が良い

公共交通が弱い

- ・公共交通が不便
- ・路線バスがないので、車がない人には不便
- ・コミュニティバスの運行を望みたい
- ・高齢者のバスのおでかけ券は、あまり使われていないのではないか
- ・上門岡地区までのバスが運行していないため不便
- ・高齢者にとって交通手段が少ない
- ・路線バスの便数が少ない

行政・議会との関係

- ・行政は、全体的に市をどんなまちにしたいのか分からない
- ・市は稲瀬をどう思っているのか
- ・地域計画で要望しても実現しない
- ・男山までの草刈りを年3回地元でやっているが、市でやるべきではないか
- ・地域の声を誰が市に届けるのか
- ・議員不在のため、意見が吸い上げられない
- ・地元の市議会議員がいらない

その他

- ・地域に病院がない
- ・市内に産婦人科が少ないので、ますます少子化になる
- ・スポーツやレクリエーション施設がない
- ・多目的広場が活用されていない
- ・地域で生活できる施設がほしい
- ・携帯電話の電波が入りづらいところが多い
- ・上下水道料金が高い
- ・下水道の整備が近隣市より遅れている
- ・交流センター職員が忙しい
- ・地域内での買い物物が不便
- ・ゴミの出し方が分からない人がいる
- ・街路灯が少なくない
- ・山間地は大雨の場合、洪水等で通行止めになる可能性がある
- ・五重塔は、稲瀬には無理だと思う

道路管理・整備が不十分

- ・未舗装で除雪されないため、孤立する家がある
- ・除雪されない区間があり、片道500mはある
- ・未舗装道路が多すぎる
- ・市道が狭いために大型車との擦れ違いが大変であり、事故の可能性が高い
- ・市道の整備が遅れている
- ・道路の除雪が遅く、あまり上手くもない。
- ・市道の草が伸びすぎている
- ・旧県道の歩道は、コンビニから農協跡まで草だらけになっている
- ・市道の草刈りは何mになったらやるのか。
- ・農道なのに、大型トラクタなどの交通量が多くなるさい。
- ・道路が計画的に完成していない
- ・市道の法面等の草刈りが多い

展勝地の渋滞対策

- ・花見の時期に混んで北上方面に行けない
- ・さくらまつりの時期は救急車が来るのが遅くなってしまう

相去

いいところ

わるいところ

史跡の保存

- ・藩境塚など史跡が多い
- ・多くの史跡が残されている

子育て環境

- ・比較的認定保育所が多い
- ・特別支援学級の環境が比較的整っている

少子化

- ・旧相去地区は、子どもが減り、活気がなくなっている

教育の課題

- ・小中学校までのスクールバスの便が悪い
- ・南小学校が古い
- ・市内に特別支援学校がない

交通の便が良い

- ・交通環境が比較的恵まれている
- ・九年橋の改修が終わって開通した

道路管理・整備が不十分

- ・産業道路（飯豊和田線）が和賀川で途切れている
- ・南部工業団地やオフイスアルカディアの道路の除草が悪い（地区で草刈した後で業者が入っている）
- ・除雪は角々を広く払ってもらいたい
- ・除雪業者の技術が悪すぎる

公共交通が弱い

- ・相去にはコミュニティバスが来ていない
- ・バスの便が悪い

農業・工業が盛ん

- ・工業団地があって働く場所が多い
- ・農業（稲作）が盛ん

環境美化の活動

- ・花壇コンクールなど、美化についての取り組みが盛ん

環境面の課題

- ・企業も増え働く場所も多くなつて良いが、ゴミが捨てられるなど環境美化に課題が多い

安全上の不安

- ・南小の裏の道路が暗い
- ・スワシロードが防犯上良くないので、防犯カメラがほしい
- ・スワシロードを自転車に乗ったまま通行する人がいて危険
- ・空家が多くなり、地域安全上の不安も多くなっている

交流センターが活用されている

- ・交流センターが、地域の文化活動、地区民相互の交流に大変活用されている

スポーツ施設

- ・スポーツが盛ん
- ・陸上競技が強い
- ・スポーツ施設が近くにある
- ・スポーツをする場所がある
- ・文教施設、体育スポーツ施設に恵まれている

ゾールの老朽化

- ・市民ゾールが古すぎる

その他

- ・行政区割のマップがない

- ・下鬼柳地区の住民つき合いが不明瞭

- ・スーパーがほしい

鬼柳

いいところ

わるいところ

人口の増加

・市内でも人口が増加している地域なので、住みやすいと思われる

少子化

・子どもが少なくなっている
・地区の小学生が少くない

高齢化・後継者不足

・高齢化が進んでいる
・高齢者が増え、若い世代が少ない
・一人暮らしの高齢者が増えている
・農業の後継者がいない

子育て環境

・小中学校が近い
・子どもたちが元気に挨拶をしている

下水道等の未整備

・下水道の整備が遅い
・下水道などの生活基盤が弱い

地域のまとまり

・近所と離れていないので、交流しやすい
・人付き合いが良い
・隣同士の交流が多い
・地域の人口が少なく、まとまりがある
・地域が小さく、行事等のまとまりがある

地域のつながりの希薄化

・色々な行事への参加者が少なくなっている
・草刈りなどの環境整備やイベント等へ若い人たちの参加が少くない
・行事への若い世代の参加が少ない
・若い人が行事に参加しない
・公民館行事に若者の参加が少ない
・自治会の役員をやりがらない
・女性の地域参加が少ない
・2区3区はアパートが多く、地区への協力、参加者が少ない

道路の狭さや未舗装

・未舗装の道路が多い
・道路が狭い
・舗装されている道路が少ない
・古くて狭い道路や未舗装道路が多く、災害時には心配
・市の中心部に近いのに開発が遅れているのは道路が狭いためではないか
・古川橋が狭いままになっている
・自転車道、歩道が少なく危険
・都市計画道路の早期整備を望む
・街路灯が少なく、暗い部分が多い

交通の便が良い

・交通の便が良い
・中心部に程よく近い
・鬼柳に住んで不便を感じない

民俗芸能の伝承

・鬼柳鬼剣舞など伝統芸能が継承されている
・鬼柳鹿島太鼓や神楽がある

公園や施設の活用

・和賀川ふれあい広場が活用されている
・市内に総合運動公園や詩歌文学館などの施設があつて良い

公園整備が必要

・鬼柳には児童公園がない
・他の地域に比べて児童公園がない
・和賀川グリーンパークの対岸（鬼柳側）の整備が必要

その他

・市では、もっと田舎に足を運んで現場を見てほしい

・内科医院が近くにない

・万世橋付近に路上駐車が多い

・公共交通が欲しい

豊かな自然

・自然が多い
・田園風景を生かして何かできないだろうか

環境維持の課題

・自然の管理が大変
・和賀川に立ち木が多く、洪水時に心配

その他

・市内に病院が多くて良い
・老人福祉施設がそれなりにある
・北上は田舎でも都会でもなく住み良いまち

江釣子①

いいこ

わるいこ

災害や犯罪が少ない

- ・安全安心な地域で住み良い
- ・平坦地で、土砂崩れ等の災害がほとんどない
- ・地形的に大災害が起きにくい
- ・江釣子の地域は災害もなく住み良いところ
- ・犯罪が少ない

地域のまとまり

- ### 民俗芸能の伝承
- ・郷土芸能が盛ん
 - ・中学校での芸能発表のおかげで、17地区の伝承が続いている
 - ・中学校の芸能発表会等青少年の健全育成に力を入れている

雇用が多い

- ・企業の誘致が良好で、労働環境が良い
- ・北上市は企業誘致に力を入れ、雇用の場が多い

自治組織の確立

- ・市全体では、16地区の自治組織が確立され、まちづくりが活発化している

交通の便が良い

- ・高速道路のＩＣや新幹線の駅に近く、交通の便が良い
- ・交通渋滞がないので、時間通りに生活ができる
- ・道路網が良い

地域のつながりの希薄化

- ・新興住宅地が増えて、従来の住民との一体感が薄れてきている
- ・地域内にアパートが増え続けているが、地域住民との交流がないので、どんな人が住んでいるのか分からない
- ・子どもを中心に転入者と地元民の交流をしてはどうか
- ・地域住民の把握が困難になっている
- ・地区の世帯や人口は多いが、ボランティア等に参加してくれる人が少ない
- ・自治会の役員のなり手がなく、地区内で支障をきたしている
- ・若いリーダーが少ない

地域づくり予算の不足

- ・まちづくりが活発化するにつれて、地区での地域づくり予算が不足してきている
- ・自治基本条例、まちづくり組織条例が制定されたが、市予算との位置づけを確立してほしい

公共交通が弱い

- ・新平・滑田方面にコミュニティバスを走らせてほしい
- ・公共交通格差が広がっている
- ・13区は公共交通が不便なので、滑田新平をコミュニティバスのルートに入れてください
- ・高齢化していく地区で、路線バスもコミュニティバスも走っていないところがある

住民の高齢化

- ・一人住まいの高齢者が増えており、雪かきや草刈が困難になっている
- ・独居高齢者が増加し、支援が必要
- ・高齢者支援についての自治組織の役割はどうか
- ・地域で高齢化に対応するには、お金と人が不足している

庁舎建設予定地の管理

- ・将来的に、新庁舎建設予定地周辺の環境整備を本格的に着手するべき
- ・かむいソーラー周辺の水路の管理をきちんとやってもらいたい

学童保育所など子育て環境の課題

- ・小学校周辺の街路灯が少ないので増やしてほしい
- ・小学校、地区、保育園、学童保育所など色々な方面から地域を考えられるような定期的な機会づくりをしたい
- ・学童保育所は、働く親にとってなくてはならない施設となっている。民生委員や区長が定期的に見に来てもらえるようお願いしていきたい
- ・学童保育所が学校の敷地内と江釣子神社側の2ヶ所にあるが、同じ学校に通っているので、学校敷地内に施設を移動したい
- ・学童保育所が学校から離れた場所にある
- ・学童保育所には100名以上の子どもが通っており、学校敷地内に新設してほしい
- ・子ども子育て支援をもっとわかりやすく
- ・子育て世帯の負担が少しでも軽くなるような、市バスの無料提供や、学習の場の提供など、市の施設や車両などの有効活用をお願いしたい
- ・通学路であっても歩道がない道路が多い
- ・通学路で雨が降ると水たまりになる箇所がある
- ・子どもたちが安全・安心に過ごせる江釣子地区となるように、市民の声をもとにした見直しや改善をしてほしい

豊かな自然

- ・自然が豊か
- ・自然環境は良く、景観にも配慮している
- ・江釣子地区は景観がいいので、いいところマップをもっと活用していきたい
- ・和賀川桜つみを市の観光資源として全国に発信してほしい
- ・江釣子地区の桜並木がきれい

すずの里

- ・すずの里の桜が良い
- ・すずの里には、ホテルやザリガニがいる
- ・すずはとても自慢になるので、整備をしつかりやっいていく必要がある
- ・すずを巡る歩道があるのが良い

河川敷の施設が充実

- ・テニスコートなど河川敷の施設が充実している

商業・医療・介護の施設が多い

- ・江釣子はショッピングセンター等商業での集客が他より多い
- ・買い物をする場所や、病院、介護施設が近くにある
- ・医療などの施設が整備され、住環境に恵まれている
- ・江釣子は医療機関が多くて良い

その他

- ・みちのく芸能まつりは、北上市の誇る祭り
- ・特産品のセリがある
- ・ゴミ出しのルールが行き届いている

環境面の課題

- ・和賀川の河川敷に不法投棄が多い
- ・道路沿いにゴミを投げ捨てられる
- ・河川敷や堤防の雑木を切る必要がある
- ・熊が出る環境
- ・マイマイガの抑制は個人ではできない

すずの里の管理

- ・すずの里の管理が難しい
- ・すずの遊歩道の柵が破損し、修理されていない

公園などの課題

- ・公園が少ない
- ・公園に子どもたちが遊ぶ施設を工夫して設置してほしい
- ・公園や施設などの管理が、官から民への流れとして今後問題になりそう
- ・野球場にスコアボードがほしい

公民館の老朽化等

- ・公民館が古くなってきたが、建て替えや改修などの経費について補助が欲しい
- ・人口が増えて公民館が狭くなったが、建て替えるための補助制度が必要

下水道に未接続

- ・北鬼柳で下水道に接続していないところがある
- ・江釣子地区内で下水道が通っていない箇所が多くある
- ・4区と14区の一部に下水道を通してほしい

道路管理・整備が不十分

- ・交通事故の多い交差点に、一時停止の標識が設置されない
- ・蒲谷地交差点など、トラップの後ろだと信号機が見えないところがある
- ・信号機のない横断歩道が多くて危険
- ・江釣子神社出入口の旧107号に面する横断歩道は、歩行者も交通量も多いので押しボタン式の信号機が必要
- ・旧107号の横断歩道は、バス通学の子どもたちがたくさん通って危険なので、信号機が必要
- ・横断歩道は、子どもも車からもしっかり見えるように定期的に整備してほしい。
- ・交通の便は良いが、除雪が雑である
- ・立体歩道橋を作ってほしい
- ・新平十文字に信号機がほしい
- ・街路灯が少ないので整備したいが、自治会の予算が足りない
- ・市道で傷んでいるところが多い
- ・道路整備が悪い
- ・新クリーンセンターへの道路の整備が悪い
- ・冬の除雪を地域で対応しなければならない道路があるが、対応が難しい面もある
- ・道路の白線の引き直しは、国体までには完全にやっしてほしい

地域計画の進捗

- ・地域計画を達成できるようにしてほしい
- ・地域計画に入れている事業の消化スピードが遅い

その他

- ・災害時に必要な情報が、個人情報保護のために得られない
- ・核家族の増加により、世代をつなぐ大家族が減少した
- ・市全体では少子化が進んでいる
- ・空き家を何とかしてもらいたい
- ・市の予算が中心部に集中しているように思われる
- ・芸能まつりは、開催時期と市民イベントについて検討すべき
- ・エネルギーの節約を推進していかないように感じる
- ・セリの後継者がいない
- ・障がい児用の施設がが少ない
- ・流通網の渋滞がひどい
- ・第3セクターの経営状態が悪い団体に補助しすぎではないか
- ・経塚山への登山道の橋の修繕がなされていない

いいところ

わるいところ

地域のまとまり 活発な地域の活動

- ・地域行事に参加する人が多いので大事にしたい
- ・話しかけると声が返ってくる
- ・隣近所の助け合い精神がまだ残っている
- ・人の心が温かい
- ・やる気のある人が多い

- ・地域のまつりを56年続けている

- ・公民館報を全世帯に配布している
- ・機関誌3号、機関紙108号を発行している

人口の維持

- ・他に比べると、北上市は人口が減少しにくい
- ・北上市は適当な人口の都市で住みやすい

高齢者が元気

- ・60代が地域で頑張っている
- ・元気のある高齢者が地域を支えている
- ・人情に厚い高齢者が元気で、まだまだ頼れる

民俗芸能や文化財

- ・郷土芸能の伝承力が強い
- ・伝統芸能が盛ん
- ・文化芸能の掘り起しが盛んになってきている
- ・歴史、文化財、民俗芸能が豊富

工業の発展

- ・産業、特に工業が発展している

地域のつながりの希薄化

- ・若い人の出番が少ない
- ・若者が集まらない
- ・青年会がない
- ・行事の負担が多い
- ・どんな行事をやっても、集まる人は同じ

若年層を中心に人口減少

- ・人口が減少している
- ・若い人が街に出るので、残るのは高齢者のみ
- ・若い人が定着しない
- ・若い人だからが定着するように「まちづくり」をみんなで作りたいが、助言を願う

住民の高齢化

- ・一人暮らしの高齢者への対策がない
- ・少子高齢化が進んでいる
- ・高齢化で雪に勝てない

文化を守る体制が弱い

- ・文化を守る体制が弱い
- ・文化財関連の予算や人材が少ない

雇用が更に必要

- ・北上西にも工場を誘致してほしい
- ・企業誘致が進んでいるが、地区内の雇用は不足している
- ・企業誘致が活発で良いが、メリットデメリットが見えない

婚活支援の不足

- ・独身者が多い
- ・婚活に対して市の活動が見えない

公共交通が弱い

- ・公共交通が少なく、交通の便が悪い
- ・交通手段、特にバスの便が悪い

空き家の増加

- ・空き家対策が弱い
- ・空き家対策が不十分
- ・空き家がだんだん増えてきている
- ・団地が空いているところがあるが、入居が促進されない
- ・空き家が多く、環境が悪くなっている

道路管理・整備が不十分

- ・道路工事を早く施工してもらえない
- ・道路整備が遅れている
- ・市道の補修が行われていない
- ・道路幅が狭い
- ・笠松大機線の道路が通学路なのに狭い
- ・冬期間は道路が狭く、車の擦れ違いが大変
- ・道路が歩行者優先になっていないので危険
- ・107号の除雪管がいつまでも設置している
- ・市道の草刈りに助成金を出してほしい
- ・通学路であつても草刈りができない市道がある

子育て環境の課題

- ・子育てや子どもの育つ環境が優しくない
- ・小学校にスクールバスが必要ではないか
- ・学童保育所が開設されるのは良いが、維持に不安がある

いいところ

わるいところ

環境面の課題

- ・和賀川が汚れてきている

- ・マイマイガを駆除しないと、せつかくの緑が食い荒らされている
- ・マイマイガの対策が必要

- ・道路へのゴミのポイ捨てが依然としてあるので、モラルの向上を目指したい

豊かな自然

- ・自然が豊かなところが良い
- ・森林浴の環境がある
- ・山、川、温泉の恵みがある
- ・自然が美しい
- ・空気がきれい
- ・公害がない
- ・自然が豊富で恵まれている

除雪への不満

- ・除雪が遅い
- ・雪が多いので、除雪車が来てもすぐに埋もれてしまう
- ・苦情が出ないような除雪をしてほしい
- ・除雪が行き届かない
- ・合併後の除雪が雑である
- ・除雪が下手で、雪の塊が残って通行できないこともある

良好な除雪

- ・機械化農業公社の除雪は良い
- ・除雪は良い

街路灯に関する要望

- ・夜間が暗く、街路灯の間隔をもっと近くにしてほしい
- ・街路灯の補助の数が少ない
- ・街路灯の補助について、地元負担が大変であり、アンケートの取り方もおかしかった
- ・街路灯の設置は、小規模の自治会では経費負担が大変なので、行政で行ってほしい

その他

- ・あじさい都市の意味が分からない

- ・和賀には公園や遊ぶところが少ない

- ・観光資源が少ない

- ・展勝地さくらまつりはもっと自由にしては

- ・樹木医の専門職がない

- ・改善センターやグラウンド周辺の管理が不十分

- ・近くに低額で使えるプールがない

- ・介護が不安

- ・大学がない

- ・人口減少で年金など将来が不安

- ・沢の整備を進めてほしい

- ・地区ごとに防火水槽の設置を願う

- ・一般廃棄物施設の熱利用がなされないこと

- ・各種補助金が減少している

- ・区長と自治会長が同じなのは良くない

- ・敬老会の補助金を増やしてほしい

その他

- ・温泉が近い
- ・子どもたちの挨拶が気持ちいい
- ・交流センターが使いやすい
- ・市は市民の声を聞く姿勢がある
- ・北上は北東北の十字路で交通の便が良い
- ・ゴミ出しのルールが守られている
- ・資源ゴミの回収が良い

街路灯への補助

- ・街路灯の補助は良い

水田の管理

- ・多面的機能支払が始まり、水田環境が良くなった
- ・米がおいしい

農業の課題

- ・もっと若い農業者が育つ政策をしてほしい
- ・田畑の荒れ地対策が必要
- ・クマ、イノシシ、ハクビシンが出る

行政の問題点

- ・行政は、物事を決める時の対話が不十分
- ・市はお金がないというが、予算はたくさんあるはず
- ・市が発注している除雪などの仕事が安い

いいところ

わるいところ

豊かな自然

- ・自然が豊か
- ・水と緑が豊かだが、環境を守るための整備が追いつかない
- ・ため池が大小2ヶ所あり、景観が良い（生かしきれしていない）
- ・道路がまっすぐで眺めがよい
- ・田園風景と住居がマッチしている
- ・山や川などの自然が多い

地域のまとまり

- ・地域作業には皆さん参加してくる
- ・「結」の精神が強い
- ・隣人とのコミュニケーションの良さ
- ・青年会の活動が活発
- ・若者の団結力が強い

民俗芸能や史跡

- ・岩崎は郷土芸能の宝庫
- ・民俗芸能が活発に行われている
- ・芸能の宝庫であり、各団体が特色をもって取り組んでいる
- ・活用が課題ではあるが、岩崎城跡がある

厳しい気候・環境面の課題

- ・岩崎は雪が多い
- ・ごみの投げ捨てが多い
- ・農薬や洗剤などが増えて、自然環境への影響が心配
- ・和賀町内の和賀川堤防、河川敷が荒れている

人口減少・少子高齢化・関係の希薄化

- ・定住人口が少ない
- ・人口が減少している
- ・空き家が多い
- ・跡継ぎがいなくなる傾向がある
- ・農業の後継者が少ない
- ・若い世代が利便の良い中心部に引越して、高齢者だけの世帯が増えている
- ・子どもが少ない
- ・少子高齢化に対応する議会での対策が見えない
- ・少子化が進んでいる

公共交通が弱い

- ・路線バスが消滅しつつある
- ・公共交通が廃止になる方向性
- ・市中心部と周辺部では、公共交通の便、不便が違い過ぎる
- ・公共交通が不便
- ・交通弱者への施策が不十分
- ・路線バスは不便だが、乗り合いタクシーの利用者は少ない

- ・地域活動への参加に温度差がある
- ・集落が広く分散しているのでもっとりにくい
- ・自治会等の役員に女性が少ない

商業や医療の施設が遠い

- ・店、病院、金融機関などが遠い
- ・行政の手続きが近くでできない
- ・病院、商店がない
- ・買い物弱者への対応が不十分

教育の課題

- ・学力がなかなか伸びない
- ・義務教育の公立小中学校に特色がない
- ・旧岩崎小学校が手つかず

観光資源を生かせない

- ・観光資源を生かしきれしていない
- ・観光の目玉として夏油高原温泉郷を生かしきれしていない
- ・夏油高原スキー場の入込が戻らない
- ・温泉の規模が小さく、大型のイベントは花巻温泉に客が向かってしまう

子育て環境

- ・小学校、こども園、学童保育所がまとまっていて、子育て環境が良い
- ・いわさき小学校周辺の教育環境が素晴らしい

温泉やスキー場がある

- ・観光資源（スキー場や温泉）がある
- ・温泉が豊富
- ・温泉が近く、健康維持に最適

その他

- ・ヒルクライムなどのイベントがある
- ・若い人のイベントが増えてきた
- ・生活感がゆっくりにしている
- ・先取りの気概がある

その他

- ・市の中心部に職業が集中している
- ・道路がまっすぐで、車のスピードが出やすくで危ない
- ・地元にいると、良いところかららない
- ・武道の施設が弱い

豊かな自然

- ・水と緑が豊か
- ・自然が豊か
- ・自然に恵まれている
- ・西山がいつでも見える自然環境が良い
- ・自然が多く住みやすい
- ・和賀町は自然が多く好きなまちです

人口の増加

- ・藤根地区は子供が増えている
- ・北上市は人口の減少率が低い

子ども・若年層の減少

- ・若い人が少なくなってきた
- ・地域に若者が減少してきているので心配
- ・子どもが少くない
- ・長沼地域は世帯数が多くなってきたが、人口は減少している
- ・市の東部・西部地区では人口が減少している

空き家の増加

- ・空き家の増加
- ・空き家が増えた

地域に医療機関がない

- ・藤根地区には病院がない
- ・藤根、長沼地区には病院・医院がない
- ・近くに病院がない

地域のまとまり

- ・地域行事への参加率が和賀地区は高い
- ・コミュニティーの活動ができている
- ・ボランティア精神がある
- ・地区コミュニティ活動に、地区の特色がよくあらわれている。

地域のつながりの希薄化

- ・協調性がないのか、地区の行事の参加が少ない

高齢者が元気

- ・元気な高齢者が多い
- ・多目的雇事場があるおかげでダートボールができ、高齢者が元気
- ・元気のいい高齢者が地域を支えている

子どもたちの挨拶

- ・小学生の朝の挨拶がすばらしい
- ・子どもの挨拶が気持ちいい

子どもの安全確保が必要

- ・和賀車小学校付近で子どもたちに声をかける人がいて不安であり、事件が起きなければと思う
- 《※つなぐ会実施後に担当課へ情報提供し、担当課から学校に連絡をしたことも確認した》
- ・学校から遠くても歩いている児童がいるので、スクールバスの運行を改善できないだろうか

雇用の場が多い

- ・企業や工場が増加し、雇用が拡大している

企業への支援が見えない

- ・企業への技術的な支援はしているのか
- ・企業が増えないのは、人的、技術的なものか、市からの支援がないのか

その他

- ・自然災害が少ない地域
- ・犯罪が少ない
- ・多面的機能支払制度は、将来も継続させてほしい
- ・地産地消ができている
- ・山菜、キノコがおいしい
- ・水道水がおいしい
- ・後藤野は今のままで十分良い
- ・平和観音があり、平和への思いが強い
- ・スキーとゴルフが同時期にできる
- ・県内では第2位とされているので、うまく利用したい
- ・買い物が便利になった
- ・区・班の衛生担当者が熱心に行っている

平和記念展示館の整備が必要

- ・平和記念展示館の施設整備に力をいれてほしい
- ・平和記念展示館のアスベストを早急に取り除いてもらいたい

道路管理・整備が不十分

- ・道路ほどこぼこぼが多い
- ・市道の舗装を直してほしい
- ・道路が悪く、直さない
- ・道路の舗装を要望しているが、対応が遅い
- ・道路の舗装整備をやってもらえない
- ・道路舗装の優先順位が地域計画と違うが、議会で承認しているのをおかしい
- ・市道の草刈は誰がやるのか
- ・市道の脇の草が伸び放題のところがあるので、個人と契約するなどして対応してほしい
- ・雪解け後に、道路に穴が開いて車や自転車危ない
- ・2軒以上の家がある場合、砂利道は危険なので4メートル以上の市道は舗装してほしい
- ・市全域で、通学路には歩道を作ってほしい
- ・国体開催への予算投資も必要だが、道路整備への配分も考慮してほしい
- ・藤根4区の旧107号は側溝のふたが古く、破損しているものもあるので、補修が必要
- ・ガードレールが錆びてきた

わるいところ

公共交通が弱い

- ・公共交通手段が少ない
- ・和賀地区から中心部の病院へ行く公共交通手段がないのでタクシーを利用している
- ・コミュニティバスは和賀にも必要
- ・公共交通が弱体化している
- ・乗り合いタクシーの状況がわからないが必要なのか
- ・のりたくをもっと充実してほしい

クリーンセンター関連の課題

- ・クリーンセンターへのアクセス道である後藤野野中線に歩道を要望しているが、動きが見えない
- ・クリーンセンター稼働に伴う交通安全施設の改良（特に歩道）が進んでいない
- ・新クリーンセンターが稼働したら、交通事故が起きるのが心配
- ・クリーンセンター稼働に伴い、トラックを中心に交通量が増えると思うが、道路が狭い
- ・クリーンセンターの建設について、当初は地域住民の福利厚生に資する施設を作る約束だったが、なし崩しで何もないのか
- ・クリーンセンターの発電は地元で安価に還元してほしい
- ・ゴミ焼却施設の温熱利用を考えてほしい
- ・後藤野のクリーンセンターを使用する際には、ゴミ袋の無料化を希望する

自治組織や交流センターの過大な負担

- ・自治協や交流センターの行事が多く役員が大変
- ・地域の教育力向上に各交流センターに5万円を出すとやっているが、交流センター頼みは無理
- ・役員のなり手が少ないので同じ人たちでやるしかない
- ・市当局でやるべきことを、交流センターに事業を丸投げしている
- ・行財政改革と称して、施設の管理などの負担を受益者や地域に押し付けている

その他

- ・水路に危険などところが多いが、市ではわかっていないようだ
- ・13号の交通量が多い
- ・道端のゴミが増えた
- ・まちの中心部はどこなのかと思うほど、商店街が寂しい
- ・高齢者が活躍して長生きできるような取り組みを望む
- ・市政に対して、世代の思いの差を感じます
- ・雪の有効利用を考えてほしい
- ・観光面では、他県から来た人に見せるところがない
- ・多目的催事場を利用して、土沢マーケット的な
- ・ケーブルテレビについて、その日の議会は放送するが、それ以外は放送が運く、ワンパターンである
- ・北上市は他市と比べて目撃できるものがないように感じているが、あるのであれば、もっと広めてほしい
- ・スボーツ宣言都市なので体育施設の使用料は無料にすべきでは
- ・第三セクターの赤字を減らす努力をしているのか疑問
- ・藤根地区の107号沿いに道の駅的な地域型の集合販売施設がほしい
- ・郷土芸能を伝えていくことが、子どもの人間形成にも必要
- ・犬の排泄物を始末しない飼い主がいる
- ・中学生の自転車のマナーが悪い
- ・あじさい都市が理解できない
- ・市議会議員の後継者がいない
- ・北上市は自殺者が多い
- ・コミュニティFM開局までの道のりが長い
- ・大学がない
- ・市職員で1日休みをとっているのに、タガ出勤し残業代をもらっている人があるのはおかしい

「わるいところ」として出された意見（3件以上の意見が出された項目）

	黒沢尻北	黒沢尻東	黒沢尻西	立花	飯豊	二子	更木	黒岩	口内	稲瀬	相去	鬼柳	江釣子	和賀	岩崎	藤根
道路整備・除雪・街路灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人口減少・少子高齢化				○			○	○	○	○		○	○	○	○	○
地域のつながりの希薄化	○	○				○	○					○	○	○	○	
公共交通							○	○		○			○		○	○
農業関連			○	○					○	○				○		
空き家・空き地			○			○		○						○		
環境・ゴミ			○										○	○	○	
子育て環境											○		○	○		
医療介護		○			○											○
下水道				○									○			
地域間格差					○				○							
自治組織・交流センター					○											○
体育施設・公園	○												○			
展勝地・さくらまつり				○												
山の荒廃							○									
観光関連															○	
新クリーンセンター																○

《各地区でいただいたご意見に、担当の常任委員会がお答えします》

総務常任委員会

地区名	意見	回答
黒沢尻 北	駅前通りに通行人が少なく活気がないので、集客の対策を考えてほしい。	駅前の賑わい形成については、北上市政策評価委員会の平成 26 年度外部評価報告書でも「市の方針と対策を明示すべきであり、市は構想や対策を策定するための取り組みを早急に開始すべきである」と記載されており、対策の推進を求めたいと考えます。
黒沢尻 東	北上川の増水で、水害の心配がある。	3 年をかけてハザードマップを作成して全戸配布となり、現在は、土砂災害の恐れがある地域への説明会が開催されています。水害が心配な地域への説明会は、これから実施予定とのことです。 また、市では県に対して、堤防等の整備に関する国への働きかけを要望し、県からは国に整備促進の要望を行うとの回答を得ています。
黒沢尻 西	交流センターへの施設の充実や人的配置をお願いしたい。地域のまつりの山車や囃子に補助金を多くしてほしい。	地域づくり組織の役割が増していますので、体制の強化が課題であることは議会でも同様の認識を持っています。地域づくり総合交付金は、ある程度地域づくり組織の裁量で予算配分することができることになっているため活用することもできます。
飯豊	16 地区の交流センターの事業や補助金に格差がある。	地域づくりに関する事業費は、地域づくり総合交付金として、地域づくり組織への交付となっています。地域づくり事業は、均等割りのほか、人口割や面積割を考慮して算定されています。また、交流センターに関する指定管理料には、生涯学習に関する事業費が盛り込まれています。年額 79 万円ですが、人口の多い地区には 3 万円または 8 万円を加算しています。

地区名	意見	回答
立花	少子高齢化が進んでいる。	少子高齢化は全国的な課題です。子育て環境の充実と高齢者福祉の向上に向けた取り組みが必要と認識しています。市では、北上市あじさい都市推進本部・総合戦略部会を平成27年1月に設置し、平成27年度中に北上市版総合戦略・人口ビジョンの策定をすることになっています。
口内	人口減少が続いている。	
鬼柳	子どもが少なくなり、高齢化も進んでいる。	
	色々な行事への参加者が少なくなっているなど、地域のつながりが希薄化している。	現状の課題の認識は共有できていますので、改善につながる取り組みについて調査研究していきます。
二子	区長配付文書の減量が必要。	当局では、配布物の内容が区長配付としてふさわしいか、広報紙に一元化できないか、区長以外の配布方法はとれないか等をチェックした上で配布を依頼しています。なお、区長の業務全体についての検討が進められています。
黒岩	公共交通が無い。10年後の交通方法が心配。	公共交通機関が整っている地域、コミュニティバスで対応している地域、乗合タクシーや有償輸送等が運行されている地域と、それぞれ地域の状況に合わせた対応がなされています。今後はあじさい都市推進本部において、地域拠点づくりと共に幹線交通、支線交通のあり方が検討されます。
和賀	公共交通が少なく、交通の便が悪い。交通手段、特にバスの便が悪い。	
藤根	公共交通手段が少ない。コミュニティバスは和賀にも必要。	
更木	コミュニティバスの便が悪い。	路線バスの廃止により、コミュニティバスの路線拡大の希望があり、当局では、利用しやすくなるように路線の検討をしています。
稲瀬	① 上門岡地区までのバスが運行していないので不便。 ② コミュニティバスの運行を望みたい。	① 稲瀬地域の乗合タクシーの利用が可能です。 ② 現在のところ、運行の予定はありません。当局では、地域の皆様と黒沢尻・岩谷堂線の利用促進のための話し合いを実施しています。

地区名	意見	回答
相 去	相去にはコミュニティバスが来ていない。	相去５区と６区で、相去地区自治協議会が市内タクシー会社へ委託して乗合タクシーを運行しています。これは、地域で協議した際、コミュニティバスを運行する程の利用者の見込みが無かったので、乗合タクシーとなったものです。相去地区に限らず、利用者の見込み人数によって、支線交通の手段が検討されています。
岩 崎	路線バスが廃止になる方向性であり、現状で不便であるが、乗り合いタクシーの利用も伸びない。	夏油温泉線については、バス事業者から今年の冬には廃止にする意向を受けています。当局では、温泉組合と協議し、現在観光路線としてのあり方を検討しています。市は、公共交通の確保策として乗り合いタクシーの活用を進めていますが、市内の乗り合いタクシーの運営方法は、地域によって異なっています。地域の利用拡大には地域内での更なる検討が必要です。
江 釣 子	公民館が古くなってきたが、建て替えや改修などの経費について補助が欲しい。人口が増えて公民館が狭くなったが、建て替えるための補助制度が必要。	建て替え等においては、コミュニティ助成事業（宝くじ助成）が活用されていますが、採択件数が少なく、地域の要望すべてに対応出来ない状況です。また、市の事業としては、自治公民館整備費補助金（改築は１５０万円、給排水設備更新や修繕は５０万円の補助）があります。

《各地区でいただいたご意見に、担当の常任委員会がお答えします》

教育民生常任委員会

地区名	意見	回答
黒沢尻 北	図書館が整備されている。	中央図書館の蔵書冊数はおよそ 17 万冊となっており、平成 26 年度における図書の受入冊数は 8,097 冊と、毎年図書の充実に努めています。
黒沢尻 東	老人施設は、費用が高く数も少ない。	平成 25 年度にグループホーム（認知症対応型共同生活介護）が 6 か所、26 年度に地域密着型特別養護老人ホームが 2 か所、小規模多機能ホームが 1 か所開設しています。
飯豊	介護施設（特に療養型施設）が充足していない。	
黒沢尻 西	最期まで自宅で安心して暮らせるシステムがあればよい。	ひとり暮らしの高齢者等に対して、①緊急時医療情報シートを入れたボトルの配布・設置、②高齢者相談員の設置、③緊急通報装置の貸与などを行っており、虚弱なひとり暮らし高齢者に対しては寝具の洗濯サービスを委託により実施しています。また、低所得者のひとり暮らし高齢者に対しても、①電話機の貸与や電磁調理器等の給付、②電話及び水道料金の一部助成を行うなど様々な事業を行い、ひとり暮らしの高齢者でも安心して暮らせるよう努めています。
江釣子	独居高齢者が増加し、支援が必要。	
和賀	ひとり暮らしの高齢者への対策がない。	
鬼柳	一人暮らしの高齢者が増えている。	
更木	高齢者が元気。	平成 26 年度は 100 歳以上の方が 56 名ほどで、高齢者の皆様は元気です。議会としては、長寿を祝う敬老会に対する市の交付金をもっと増額するように、市当局に働きかけているところです。
藤根	元気な高齢者が多い。	
稲瀬	元気のいい高齢者が地域づくりを支えている。	
	高齢者のバスのおでかけ券は、あまり使われていないのではないか。	「高齢者バス運賃助成事業」についてのことと思われま。平成 26 年度は助成券を交付した人数が 1,185 人で利用率が 76.44%となっております。市では、交付の際にアンケートを実施するなど、利用者の実態把握に努めているところです。

地区名	意見	回答
二子	北上市は自殺者が多いと聞くので、秋田にならって対策を強めてはどうか。	自殺者は、平成 22 年度の 40 人をピークに 25 年が 27 人、26 年が 24 人と減少傾向となっています。市では、自殺対策の一つとして「こころの体温計」というストレスやいじめのサインを診断できるシステムを市のホームページからアクセスできるようにしています。なお、この「こころの体温計」が市のホームページからアクセスできるようになったのは、議会の一般質問の際に議員が提言したことにより実現したものです。
藤根	北上市は自殺者が多い。	
相去	市内に特別支援学校がない。	市内に特別支援学校又は分教室を新設することについては、平成 26 年度に市が県に対し要望を行いました。現在は、分教室の設置に向けた検討が進められています。
岩崎	旧岩崎小学校が手つかず。	旧岩崎小学校跡地については、公売を実施した結果、応募者がいたことから売却する予定となっております。
立花	小中学校の統合を早くしてほしい。小学校の統廃合の具体的な展望がほしい。	より良い教育環境づくりと望ましい学校教育の実現のため、小中学校の適正配置と規模の適正化を図る必要があり、小規模化している小中学校については統合を基本として適正規模化を進めることとしています。平成 28 年度に「小中学校適正配置基本計画」を策定する予定です。

《各地区でいただいたご意見に、担当の常任委員会がお答えします》

産業建設常任委員会

地区名	意見	回答
黒沢尻 北	駅前の通行人が少なく活気が無いので、集客の対策を考えてほしい。	当局では、平成 25 年 3 月に作成した北上市地域商業ビジョンを基に、関係機関と協議しながら対応していくこととしています。商業団体が実施するハード事業やソフト事業に対して、対象経費の一部を支援する制度があるほか、低利な資金調達を可能とする融資制度もあります。
黒沢尻 東	中心部の集客が悪く、街中が寂しい。	
飯 豊	若者が魅力を感じるような大型商業施設が少ない。	
黒沢尻 西	空き家が多く、周辺の雑草に困っている。	平成 26 年度に、市内の空き家状況調査が行われ、今年度中の「（仮称）北上市空き家等対策計画」策定が予定されています。空き家の適正管理を促進するとともに、相談窓口の開設や空き家バンク制度の運用により、移住や定住化を含めた空き家の有効活用が検討されています。
二 子	空き家が増加しているので、対策をしてほしい。	
立 花	さくらまつり期間の交通渋滞を解消させるための対策が必要ではないか。	旧北上病院跡地など市内 3 ヶ所に臨時駐車場を設置し、シャトルバスを運行しての渋滞緩和が図られています。
更 木	松くい虫の被害があるなど山林が荒れている。	平成 26 年度においては、森林病虫害防除事業で県または市が定めた区域を材積約 265 m ³ 、保全松林再生整備事業で保安林や公園等を材積約 275 m ³ の松くい虫駆除が実施されました。
黒 岩	地域の人口が減少していることから若者の U ターン就職を望む。	北上雇用対策協議会では、北上で働きたい U・I ターン就職希望者に対して、企業情報や就職フェア等の情報を提供したり、企業とのマッチングを実施したりしています。
口 内	農地の放棄地が増加しており、対応してほしい。	平成 26 年度より開始した農地中間管理機構において、農地の貸し手と受け手の仲介をしている他、農地を貸し付けた地域及び個人には協力が支払われており、農地集約を促進する取り組みがなされています。

地区名	意見	回答
稲 瀬	農産物のブランド化が進んでいない。	農林部農林企画課内に産業連携推進係が設置され、農商工連携や6次産業化を推進しています。また、農林畜産物のブランド向上に資する事業も展開されています。
相 去	南部工業団地やオフィシャルカディアの道路の除草について、地区で草刈りをした後に業者でやっている。改善してほしい。	情報を共有し、地域と連携して取り組むように当局へ申し伝えます。
鬼 柳	和賀川に橋がもう1本あれば、渋滞緩和になるのではないか。	橋を新設するには、50億円程度かかるとも言われており、財政的な面からも難しいと思われます。
江 釣 子	芸能まつりは、開催時期と市民パレードについて再度検討すべきではないか。	みちのく芸能まつり実行委員会において、毎年内容や開催時期等が協議されています。現在は8月第1金曜日から3日間の開催とし、市民パレードは初日の実施となっています。今年度はアンケート調査を実施し、来年度の開催に向けた検討材料となります。
和 賀	もっと若い農業者が育つ政策をしてほしい。	青年就農者の定着支援のため、1年あたり1人150万円を最長5年間にわたって給付する青年就農給付金の制度が平成24年度から始まっています。平成26年度は25名に給付されました。また、農業指導士等から技術的支援を受けられる新規就農者育成支援事業も行われています。
岩 崎	夏油高原スキー場の入込数が減少しているが対策をしているのか。	スキー場の運営事業者である株式会社北日本リゾートでは、入込数の増加を目指し、外国人の誘客強化や新たなコースの設定等の対策を考えていると聞いています。
藤 根	企業への技術的な支援はしているのか。	基盤技術支援センターでは、各種精密測定機器を安価に開放し、企業の観察・計測・測定の支援が行われています。また、岩手大学工学部附属金型研究センターへ事業委託し、金型技術の高度化や課題解決に取り組まれています。

《どの地区からも多くの御意見があった道路関係について》

意見	回答
古くて狭い道路や未舗装道路が多く、災害時に心配である。	修繕や補修が必要な箇所が早期に発見できるよう、道路維持作業を行う非常勤職員 6 人がパトロールカーで巡回しています。簡単に対応できるものは業者に依頼せずに、その場でパトロールの職員が処理しています。
市で全体的に道路が悪く、傷んでいるところがある。	
雪解け後は、道路に穴が開いていて危ない。	
市道の脇の草がかなり伸びており、対応してほしい。	道路管理事業において、路面清掃、除草、剪定等が実施されています。限られた予算の中ですべての市道の除草を委託することは非常に困難であり、道路愛護会等の御協力を得るなどしてどうにか実施している状況です。なお、平成 26 年度の道路管理委託件数は、85 件でした。
除雪が遅く、あまり上手くもない。	平成 24 年度より除雪出動基準を 15 センチから 10 センチに変更すると共に、除雪状況を市のホームページから確認できるようになっています。ご意見については当局に申し伝え、改善を促します。
除雪は業者によって差があるので、市で監視しチェックしてほしい。	
冬期間は除雪した雪で道路が狭くなり、車のすれ違いが大変である。	
道路の新設計画が遅れている。	地域計画で定められた優先順位によって順次進められております。
さくら野百貨店前のスクランブル交差点に疑問がある。	市民からそのような声があることは承知しておりました。岩手県警と協議するように当局へ働きかけます。
諏訪町の一方通行や、自転車道の入り口のポール及び歩道のチェーンを改善してほしい。	

アンケート自由記入欄（市民と議会をつなぐ会について）

No.	アンケート内容
1	今回の会の進め方は大変良かった。皆が発言することができて良かった。
2	議会報告について、もう少し時間が欲しかった。
3	この方式には反対だが、やるのであれば議員の方はもう少しきちんと理解してやってほしい。自分が模造紙に書くのだったら、もっときちんとした字を書く姿勢が必要ではないかと思う。安易に取り入れ過ぎであり、言いつばなし、書きつばなしで終わり、参加者同士の話し合いができない。その後の結果にも期待できない。
4	議会側からの報告事項が少ない。もっと時間をとった方が良い。
5	年1回の開催が少ない。
6	よい計画であり、楽しかったです。
7	ワークショップ形式は新しいと思いました。
8	地元の議員さんともっと話し合いが必要。市とのパイプ役が不足している。
9	もっと議員の先生方の課題を知らせてほしい。
10	若い世代の人が多く参加できるように議員の皆さんはどう考えるのか。
11	皆さんもっと言いたいことがあると感じました。年に何度かあると良い。
12	議員からの報告の主旨がいまいち不明であった。報告なのか問題提起なのか、議題を明確にしてほしかった。ワークショップは良いと思います。今回の意見はまとめて地区の方全員に配布してほしい。
13	長期継続で住民の声を吸い上げて改善を早期にお願いしたい。ご苦勞様でした。
14	内容がわからなかったため、最初とまどいがあった。北上はほどほどでいいが、メインがない。
15	グループでの話し合いの時間をもう少し長くしてほしかった。グループワークのテーマについて、初めから指定及び事前にお知らせ等してほしかった。
16	ワークショップ方式は良かった
17	班単位で発表したまでは良いが、掘り下げて議員との意見交換ができればよかった。
18	人集め、PRをもっとすべき。
19	今後とも継続願います
20	時間が足りない。グループで意見交換を深められたら更に理解できたのではないかな。
21	住民の声を拾う努力を！
22	集まっている方々の間ですら、互いの地域のことが分かっていない。
23	若い人が集まるような案内をすべきだと思う。老人会では意味がないと思う。
24	市政について、もっと関心を持っていく必要がある
25	話せるチャンスをいただいたことありがたく思っております。
26	発言の時間がもっと必要。
27	時間の配分が良くない。
28	ワークショップは勉強になった。自分でも気がつかないことがあった。
29	議員は市全体を知る意味でこの機会は大事。声を参考にしてください。
30	参加者がもう少し多いと良い。

31	今日、話が出た箇所は現地視察して欲しい。
32	ワークショップは時間が足りなかった。考える時間がもっと欲しい。
33	市民の意見を聴こうという姿勢が伝わった。国会議員とは違う！
34	グループ討議は必要ない。議会報告で良い。
35	意見交換の話題が片寄っていた。
36	開催告知が遅すぎる。
37	議員の説明はまだまだ課題はあるが分かりやすかった。
38	若い女性への結婚支援を進めて欲しい。
39	初めての参加でしたが、色々考えさせられた。
40	若い人も参加できれば良いが、年配者の声も聴いて反映して欲しい。
41	意見交換の時間がもっと多いと良かった。初めての参加でしたが貴重な時間だった。
42	もっと人が集まれば良かった。呼びかけの工夫が欲しい。
43	参加者が少ないので、今後は女性、高齢者、青年、中高年というように階層別で実施してはどうか。その際には、それぞれの団体に参加者をまとめてもらってはどうか？
44	P R 不足。若者や女性の参加者が少ない
45	もっと同じテーブルに座った同士のコミュニケーションの時間をとれると、横のつながりが生まれる
46	こういう機会を与えてくださり良かったです
47	会場が狭く、よく聞こえなかった。
48	会場設営をもう少し工夫できないか。
49	初参加しました。学童の話ができ、とても充実した時間でした。地域の皆さんと接する機会があまりないので、このような機会をたくさん持てたらいいなと思います。
50	初めて参加しました。また参加したいと思います。とても良かったです。
51	地域の方と様々な話が聞くことができ大変良かったです。ありがとうございました。
52	問題提供は良いと思うが、事前にやり方等を知らせたら良いのでは。
53	議員と市民が直接話せる機会となり、大変良いと思います。今後も継続のこと。
54	ワークショップは新しい試みで良かったが、時間が短かった。
55	良い所、悪い所がぱっと出てこなかった。
56	議会の話はよく分からなかったが、意見交換は話しやすくよかった。こういう機会はとても良い
57	つなぐ会の成果も報告してほしい
58	開催告知が遅すぎる
59	初めて参加させていただき、市政に関心が持てて良かった
60	議員の方から稲瀬地区をどう思っているか聞きたかった。

【担当の広聴広報特別委員会から】

市民と議会をつなぐ会に関する多くのご意見・ご感想を記入していただき、誠にありがとうございました。今回は初めてワークショップ形式で意見交換を行ったため、戸惑われた方もいらっしゃったようですが、多くの参加者から多様な意見を伺うことができました。周知や進行についてまだまだ課題もありますが、今後も市民の皆様の意見を議会に反映させるため、市民と議会をつなぐ会を継続して参りますので、ご参加をお願いいたします。

アンケート自由記入欄（その他）

No.	アンケート内容
1	政策を集約しながら、行政側との意見交換もして欲しい。
2	あじさい型まちづくりがわかりにくい。
3	いろいろな担当課が来て説明会をするが、地域への市の窓口は1本化して欲しい。
4	地域計画が具体化（実現）できるよう願う。進み具合が遅い。
5	北上市全体をとらえる場合「ダブルスタンダード」の視点が必要。「周辺部は北上の宝」という意識を浸透させる。中心部の視点と周辺部（和賀町と河東地区）の視点の「ダブルスタンダード」を明確にして施策を推進すべき。
6	市の税金を有効に使ってほしい。無駄をなくす。
7	第3セクターが見えてこない
8	夏油スキー場、ケーブルテレビ、さくら野等は、行政は行政、議会は議会で判断すべき。第3セクター全てダメ。
9	特別会計の実態を明らかにし、実態に見合った箱モノプランを。
10	若い女性への結婚支援を進めて欲しい。
11	市職員の地域参加を本気で考えてほしい
12	小中学校の統合が課題となっている。小中一貫校（単なる統合の一形態でなく、学区外応募も視野に入れた学力向上対策校）の実現を。
13	当地域も少子化が進んでおり、子育て環境の早期改善、環境作りが必要と考える。
14	少子高齢化の対策を議会でも話してほしい。研修も実施していると思うが、その内容等も知りたい。
15	年金受給者と生活保護者と行き違い（逆転）してはいけないと思う。
16	済生会病院への支援について、透明性をもって！
17	ペットの墓が一杯と聞いていますが、どこかへ作ってください。
18	格安の老人ホームってできないの？15年後あたりがピークになり大変だよ。年金も下がるだろうし。
19	コンビニ店などから毎日出される期限到来の廃棄食料品を貧困、生活保護申請世帯などへ無料支給して財政圧迫をなるべく軽減させる

市民と議会をつなぐ会に参加いただきました皆様、
またアンケートにご協力いただきました皆様、
誠にありがとうございました。